

戦国大名武田氏の権力と支配

丸島 和洋

本書は、二〇〇六年七月八日に開かれた武田氏研究会の総会において、「武田氏研究の新展開」と題して行われたシンポジウムをもとにしている。「新展開」とは必ずいぶん大きく出たものだが、現在の武田氏研究における到達点を整理し、新たな論点を提示したいという意気込みを籠めたものであった。当日の報告は、鈴木将典・平山優・丸島和洋・柴裕之の四本で構成されており、それぞれ本書所収論文のもととなっている。もっとも、本書をシンポジウム成果論集と位置づけるのは、正確とはいえない。私たちは「武田氏シンポジウムワーキンググループ」と称した勉強会を重ねており、シンポジウムはその成果の中間報告という側面を有したものであった。本書に収めた各論考は、その勉強会における議論の集成である。(中略)

本書においては、甲斐武田氏を素材として、最新の研究動向を踏まえた議論の提示を目指すことにした。(中略)その際に注意したのは、下記の点である。現在の戦国期研究において、注目されている論点を選んで執筆をお願いすること。(中略)各論考においては、武田氏における研究史を整理し、各論点が武田氏においてどのように扱われてきたかを明確化した上で、実証的成果を示すこと。(中略)

そしてこれが最も重要な点なのだが、素材こそ武田氏に設定するものの、他大名との比較検討、戦国大名論のなかでの武田氏の位置付けという問題意識を常に念頭に置くこと、を執筆各位に求めることとした。したがって本書所収の各論考は、基礎的な実証研究を基本としつつも、個別大名の枠組みを越えた問題提起的性格をそれが明示されていなくても内包している。現段階で、武田氏において明らかに出来る実証的成果を提示することで、次の段階につなげたいと考えたからである。(中略)

本書の執筆陣の多くは、かなりの若手研究者からなる。だからこそ、このような無謀な企画を行い得るものなのかもしれない。本書が、戦国期研究を前進させる一助となりうるものかどうか。読者諸賢のご叱正を賜れば幸甚である。

(平山・丸島編『戦国大名武田氏の権力と支配』、2008.12、小社刊、「はしがき」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

* 本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

標茶町郷土館報告
〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12
015-487-2332
20 2008.7 B5 64p (抄)
JR釧網本線「標茶 釧路」区間の代替路線「標茶 鶴居 釧路」線 JR釧網本線の調査研究シリーズ(完結編) 横平 弘
アイヌ語地名「オソツベツ」の語源 河川名「オソベツ」との関連 横平 弘
「塘路で行われたクマ送り」写真についての考察 坪岡 始
文化情報 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
307 2008.5 B4 4p
20年度の活動方針などを了承 4
月21日、第一回役員会を開催 / 文化財登録等の動き / 中標津町で子ども文化財愛護活動
文化財保護への新しい動き 舟山 廣治
もっと知ろう郷土の歴史 山田 雅也
炭鉱よもやま話(61)
「坑夫の像」の謎 青木 隆夫
文化の新しい風 北海道遺産(20)
まちの魅力への気づき
北海道遺産構想推進協議会
アイヌ文化を一目で 小・中学生

向け副読本、全面改訂
我が家の遺産 西島 照男
先住民族サミット・アイヌモシリ
2008 新川 寛
308 2008.7 B4 4p
札幌で通常総会 20年度事業を承認 / 松前神楽を道無形民俗文化財に
文化講演会から 北の歴史を彩った男の思想と信条 合田 一道
平成20年度文化財めぐり
札幌市内四箇所を
恵庭市柏木川4遺跡出土の編み布
(財)北海道埋蔵文化財センター
榎本武揚没後百年 舟山 廣治
炭価高騰の雑感 青木 隆夫
ピリカ・ケットゥム・アプカシ 新川 寛
文化の新しい風 北海道遺産(21)
「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」に新ジャンル追加 北海道遺産構想推進協議会
道外文化財散歩の日程
佐渡の歴史と文化財を訪ねる旅
道内文化財散歩の内容 夕張炭田
ふもと南空知農村地帯の文化財
探訪 卜部 信臣
アイヌは先住民族 山田 雅也
松前神楽伝承に尽力された常盤井
さんを偲んで 長谷川雅志
北海道れきけん 北海道歴史研究会
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 011-667-2137

67 2008.6 B5 12p
先住民族に見る詩歌の世界(22)
(23) 水無月 怜
カラフトは離島なり、さし渡し四
里程にして 松田伝十郎の生涯
今野 淳子
平成20年度定期総会を開く
研究発表は田中貢さん
わが国の教育制度 雑感(2) 久々漢昭三
北海道の歴史を考える(7)(8)(9) 岡村 正吉
静内川周辺のチャシめぐり(2) 地蔵 慶護
北方民族博物館だより
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
0152-45-3888 hoppohm.org
69 2008.6 A4 4p
平成19年度講演会「沿海地方の森
と動物たち」講師・あべ弘士
氏 中田 篤
写真展「こんにはちモンゴル 海
外協力隊員が見たモンゴルの今」
中田 篤
講座「私が見たモンゴル 街・草
原・子どもたち」講師・高
橋久美子氏 中田 篤
学芸員講座(1)「モンゴルの森林
と遊牧民 トナカイ遊牧民ツァ
ータンの夏」講師・中田篤 中田 篤
とりら
ふるさと岩手の芸能とくらし研究会
〒020-0113岩手県盛岡市上田堤2-22-5
飯坂方 019-662-4513
www.h3.dcn.ne.jp/~iwagei/torira.htm
2 2008.6 B5 32p
いわて芸能ごよみ
早池峰神楽 歌の楽しみ 萬 由美

盛岡及び周辺の「七夕」「虫まつり」「疫病まつり」 岡田 現三
荒舞とダ・ヴィンチ・コード
鬼面の舞の源流 吉田 隆一
「とりら」って何? 飯坂 真紀
家と神楽 黒森神楽の儀礼 假屋雄一郎
とりらの図書室
ホツマ ホツマ研究会
〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201
019-653-5554 年2000円
59 2008.6 A5 10p
ホツマツタエ研究者 鍋邦男先生逝く
追想録「鍋大兄の思い出」
ホツマツタエ赤坂研究会 今村 聡夫
鍋邦男先生を偲ぶ 船木 寛伴
古事記の大嘘(2) 小川蒼秀 / 鍋邦男
仙台郷土研究 仙台郷土研究会
〒980-0014仙台市青葉区本町2-20-2
斎藤報恩会内 022-223-2617 年3000円
sendaikyoubo.blog77.fc2.com
276 (33-1) 2008.6 A5 68p 1800円
いわゆる『中尊寺供養願文』に関
する試論(1) 名村 栄治
古内主善重廣について 島貫 裕
幕末蒲蘆館の人々(上) 阪元順吾
(二代道逸)の江戸遊学 小笠原康隆
開成丸と作曆 黒須 潔
神学生松井寿郎小伝 最初のロシ
ア神学大学日本人留学生 高橋 昭夫
日露戦争出征兵士らの手紙 丹野 恭夫
宮城県南部の猫神社 石黒伸一朗
山岡鉄舟の戯作狂歌 佐藤 清一
石垣宏氏を悔む 編集部
仙臺文化 『仙臺文化』編集室
〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘11-19-6

渡邊慎也方 022-249-6530
 7 2008.5 A4 24p 700円
 《特集 仙台の芝居と映画》
 表紙の物語(7) 市民の劇場とし
 て親しまれた仙臺座 齋藤 広通
 仙臺人追慕(7) 裁縫術を全国に
 広めた朴澤三代治 植村仙枝/渡邊慎也
 仙台の工芸(7) 仙台の染物デザ
 イン 常盤紺形木綿染め 庄子 晃子
 1925(大正14)年のキネマ界
 仙台の芝居・演劇・映画ものがた
 り 娯楽の華 仙台の芝居と映
 画 半田英博/氏家香菜子
 ありし日の文化キネマ
 エノケンの伊達騒動
 仙台北口の時代喜劇
 街の賑わい(7) マッチラベルで
 見る昭和初年(7) お寿司・お
 でん
 東京便り(7) 何かを「大切に愉
 しむ」という喜び 服部 夕紀
 街のともし火(3)
 Book cafe 火星の庭
 『仙臺文化往来』号外 仙台にお
 ける「劇場・映画館」営業状況
 (昭和22年まで)
 東北宗教学 東北大学宗教学研究室
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
 学大学院文学研究科 022-795-6022
 3 2007.12 A5 234p(抄)
 訳語「回心」のルーツと展開 徳田 幸雄
 ある一漁民の祈願と生業 山形県
 鶴岡市由良地区にみる 阿部 友紀
 四国遍路の展開における講集団の
 関わり 栗田 英彦
 ウェブサイトにみる新靈性運動 今泉 麻理
 学びの周辺 回想 研究室在籍と

その前後 岡田 重精
 自著を語る
 『近代日本の民衆キリスト教
 初期ホーリネスの宗教学的研
 究』について 池上 良正
 「安倍晴明」の読み方 繁田 信一
 東北民俗 東北民俗の会
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1
 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室
 FAX022-795-6022 年4000円
 tohokuminzoku.com
 42 2008.6 A5 94p 1000円
 トビウオの追込み漁 川島 秀一
 仙台雀踊り 稲 雄次
 効く祈願と効かない祈願 善光寺
 龍王講にみる「ご利益」観 阿部 友紀
 養蚕から養殖へ 戸倉半島一集落
 の生業サイクルの変遷を通して
 小谷 竜介
 仙台競馬事始 明治の仙台におけ
 る近代競馬の黎明 佐藤 千尋
 磐城における吉田氏について
 東北の南北朝時代を通して 吉田 博令
 「定義如来夏まつり」と地域社会 若林 俊介
 「非常時」への対応 岩手県八幡
 平市安代地区における食生活 佐藤 梨恵
 村落の非統一的多層性 宮城県白
 石市白川内親を事例に 岡山 卓矢
 中国湖北省荊州市にて「河童犬」
 に似た石刻物を発見 陶 思 炎
 平成19年度年次報告
 ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 045-773-3919
 homepage2.nifty.com/geracine/

19 2008.6 A4 22p
 2008年総会 講演「世界史からみ
 た若宮丸」高島邦俊 今村 享嗣
 追悼・石垣宏元会長
 「云々先生」 久野 義文
 石垣宏先生との出会い 本間 英一
 石垣宏先生の思い出 今村 享嗣
 「漂流人口書」
 「漂流人口書」の提示に寄せて 日名子周三
 日名子周三氏所蔵「漂流人口書」
 について 庄司 恵一
 いわゆる「鎖国」はなかった 佐藤三寿夫
 図録小冊子「鎖国の時代に世界一
 周した若宮丸の津太夫と左平
 初めて世界一周した日本人」
 鎖国の時代に世界一周した若宮丸
 の津太夫と左平 綿 晋
 NPOみなとしほがまの人たちの
 熱意に圧倒されて 齋藤 博
 私と若宮丸(11) 流されながら思
 う、流されるキモチ 大野 康世
 ご報告・ふたつのパネル展
 北方風土 北方風土社
 〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
 乙1-254 森本彌吉 0187-85-4027
 56 2008.6 A5 172p 2000円
 深江弥加止の名の不思議 追記 田牧 久穂
 アイヌ その形成と文化について
 西成 辰雄
 注目される鳥海山の歴史・文化に
 新資料「鳥海山和讃縁起」一
 巻 神宮 滋
 仙台・青葉まつり
 続・仙台東照宮祭礼再考 稲 雄次
 沢内の湖と狩人伝説、西和賀の風
 俗、そして出羽との交流 高橋 暁樹
 松園と掬汀 文殊像一件の事 高倉 光一

倭国の物語(5)
 邪馬台国から始源期まで 寿松木 毅
 東北地方の神宮寺 神仏習合形態
 の北方への展開 神宮 滋
 竿燈とネブリ流し 高坂 昭男
 財布を紛失した大名行列
 市販「古文書テキスト」より 佐藤 貢
 真昼山あれこれ 並木 美穂
 深江弥加止は横手盆地の湧水・出
 水・沼の意味する 深田新一郎
 村木其友著
 三枚紀行・森吉山紀行 黒澤 三郎
 山崎半蔵、松前下蝦夷紀行(文化
 三年) 新谷 正隆
 藩政期の秋田領内有力社寺の社領
 寺領に関する文書(3) 神宮 滋
 季刊 東北学 東北芸術工科大学東北文化
 研究センター(発売:柏書房)
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 023-627-2168 年10000円
 www.tuad.ac.jp/tobunken/
 15 2008.5 A5 262p 2000円
 《特集 新たな縄文像を探る
 縄文考古学最新情報》
 座談会 縄文社会の変化と階層化
 モノからコトへの考古学の流
 れ 高橋龍三郎/谷口康浩/安斎正人
 高原山黒曜石原産地遺跡の発展
 旧石器考古学のいま 国武 貞克
 東北の環状列石 その謎に迫る 佐々木藤雄
 押出遺跡発掘と縄文人の生活 彩
 漆土器や石器からみえる生活と
 交易 佐藤 鎮雄
 斧と槍の両義性 氷河期の終末を
 彩る神子柴遺跡と唐沢B遺跡 堤 隆
 森吉山麓縄紋社会の狩猟儀礼
 マタギ文化の源流 小林 克

北方の考古学 アムール下流域と
 北海道の関連性について 福田 正宏
 縄文式土器と文化圏 文化史復元
 研究は本当に乗り越えられたの
 か 山本 典幸
 人間学としての考古学(2)
 デザインの考古学 安斎 正人
 東北民衆史の水脈(1) 北の町の
 天文警世家・前原寅吉 色川 大吉
 日本民間信仰史研究序説(12)
 巫女と巫娼 谷川 健一
 民俗学の眼(3) 子供組を見守る
 民俗の教育力(3) 野本 寛一
 濟州島の民俗(15) 雉獺について
 生業民俗論(8) 高 光敏
 ラオス 山からの伝言(15)
 モンは米食民族か?(2) 安井 清子
 モノからみる韓国(3) ハンアリ
 李 恵燕
 風景の中に眠る記憶(時評) 田口 洋美
 伝統的な朝鮮農法に魅せられた日
 本の農学者(書評) 李 恵燕
 聴雪 新庄古文書の会
 〒996-0084山形県新庄市大手町2-65
 大場英一方 0233-23-2786
 12 2008.6 B5 91p
 中級講座の学習 諸用永々控
 付 解説「湯殿山縁記」 伊藤 善一
 中級講座の学習 天正最上軍記
 実録 白鳥十郎落城
 付 解説「天正最上軍記 実録
 白鳥十郎落城」 滝田 勉
 入門講座の学習
 議定之事(郡中議定)
 付 解説「議定之事(郡中議定)」
 土屋 道郎
 正徳三年「覚」(一、二)

付 解説 正徳三年「覚」(一、
 二) 伊藤 勉
 享保七年「覚」
 付 解説 享保七年「覚」 大泉 友子
 特別寄稿
 史料紹介 松田家文書三点 大友 義助
 角沢村の御朱印米に関する一考察
 大場 英一
 米納と米払について 伊藤 善一
 申御朱印米請払帳 武田 清夫
 商売往来 大泉 友子
 勅使御馳走御用日記(2) 矢口 實
 古戦場そして名水の里「六郷」へ
 土屋 道郎
 新庄古文書の会「会務報告」
 まんだら 東北文化友の会会報
 東北芸術工科大学東北文化研究センター
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 023-627-2168 年10000円
 www.tuad.ac.jp/tobunken/
 35 2008.5 B5 64p
 《特集 地域のひらく》
 対談 オープン・リサーチ・セン
 ター整備事業と現代G P プロジ
 ェクト 田口洋美 / 遠藤牧人
 地域と学生 須藤亜希子 / 矢口奈美
 小玉大介 / 日野洋子
 『まんだら』表紙写真をたどる 内藤 正敏
 東北芸術工科大学公開リレート
 ーク カフェ@ラボ 旅と発見
 熊谷達也 / 田口洋美
 最上川の文化的景観の世界遺産登
 録をめぐる
 渡部泰山 / 菊地和博 / 入間田宣夫
 山形県世界遺産シンポジウム・学
 術公開講座報告
 東北1万年のフィールドワーク公

開講座報告
 山形美術館「北大路魯山人と岡本
 太郎展」記念対談 岡本太郎を
 語る 大久保義彦 / 赤坂憲雄
 東北ルネサンス・プロジェクト
 in 仙台報告 赤坂憲雄対論
 「東北・知の系譜」/ 小説家・ラ
 イター講座 / 編集者講座
 第3回木山捷平選奨 短編小説賞
 受賞によせて 紺野真美子
 座談会 横山英子がゆく!(5)
 賢木新悦 / 小松忠信 / 横山英子
 文学者たちの山形(15)
 森敦の戦後と文学 池上 冬樹
 聞き書き・知られざる東北の技
 (15) 凧づくりの山田三郎さん
 野添 憲治
 こども芸術大学 母の聞き書き 森 繁哉
 長橋英子さんに聞く 守岡 映
 地域誌だより(8)
 なぜか、歌謡ごころジャワメグ
 津軽 杉山 陸子
 奥会津・間方の人々に学ぶ 菅家 博昭
 「東北からの声」を読む
 滝沢真喜子 / 千葉由香
 赤坂憲雄東北文化研究センター所
 長 第57回河北文化賞受賞
 村山民俗 村山民俗学会
 〒990-0821山形市北町3-3-45 市村幸夫方
 023-684-5708 年3000円
 www.chance.gaiax.com/home/imichiaki
 22 2008.6 B5 111p
 《特集 死者供養と祖霊信仰》
 山形市山寺における死者供養につ
 いて 大友 義助
 鶴岡市清水のもりの山
 三森山のもり供養 犬塚 幹士

中世庶民墓地の形成 川崎 利夫
 シシ踊りの回向と縁起に見る死者
 供養 村山 正市
 虚空との交信 妙見信仰と鉱山 野口 一雄
 葉山信仰の諸相(1)
 ハヤマ信仰と村山葉山 鈴木 聖雄
 荷渡信仰(2) 伊藤 登啓
 多賀城・中尊寺と王祇神 大江 良松
 「鮭の大助」小考 村田 弘
 「出羽三山」の宗教世界 手嶋 健博
 手嶋健博氏「出羽三山」の宗教世
 界」に触れて 岩鼻 通明
 嗚呼・櫻井徳太郎先生 木村 博
 櫻井徳太郎と村山民俗学会 加藤 和徳
 史料紹介 武州川越@羽州山形江
 御所替全 市村 幸夫
 会の歩み(2007年度)
 磐城民俗 磐城民俗研究会
 〒976-0007相馬市大坪字西畑23-1
 大迫徳行方 0244-36-1533 年1000円
 35 2008.6 B5 52p
 唐土の鳥と蒙古の碑 岩本 由輝
 経験科学としての『会津農書』
 陰陽五行説と農業技術 佐々木長生
 郷土のこぼれ
 父の三春方言・なまり集 田母野公彦
 庚申様について 吉田 博令
 受贈図書紹介 / 研究会・事務局だより
 福島県史料情報 福島県文化振興事業団
 〒960-8116福島市春日町5-54 024-534-
 9193 www.history-archives.fbs.ed.jp
 21 2008.5 A4 4p
 「磐梯山噴火真図」(個人蔵) 渡辺 智裕
 県内市町村史の活用について 山内 幹夫
 古文書に記された古墳(1) 小暮 伸之
 地籍図に見る神指城(1) 本間 宏

文書と印刷 山田 英明
 地域史研究会活動情報
 猪苗地地方史研究会 渡部 淳
 福島県歴史資料館 平成20年度年
 間行事予定

関 東

茨城史林
 茨城地方史研究会（発売：筑波書林）
 〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14
 年2000円
 32 2008.6 A5 114p 1100円
 観光案内と史跡・伝承 佐久間好雄
 古代常陸国新治郡井田郷について 久信田喜一
 御三家分家の創出について
 水戸家分家を中心として 永井 博
 「生瀨乱」年代考(下) 野上 平
 石岡市(旧八郷町)下林観音寺蔵
 「天明四年辰七月 差上申一札
 之事」文書(観音寺100号文書)
 を巡って 観音寺と門末寺院、
 同寺と檀家村民との関係 矢島 英雄
 近世中期の霞ヶ浦 安永期の牛堀
 前洲浚えを中心として 栗原 亮
 岩井戦争における旧幕府軍につい
 ての考察 あさくらゆう
 幕末から明治後期における妙哲行
 者の信仰 近江 礼子
 書評 瀬谷義彦『竹南荘の日々』
 を手にして 小松 徳年
 茨城の思想研究 茨城の思想研究会
 〒310-0033茨城県水戸市常磐町2-9-13
 武井邦夫方 029-224-1635
 8 2008.6 A5 80p
 巻頭言 「汝自身を知れ」という
 ことの意味 後藤 彰彦

水戸学と伊藤仁斎 吉田 俊純
 「英将秘訣」の世界 幕末期にお
 ける宗教とテロリズム 菅谷 務
 「三島通庸」と栃木県庁移転問題
 を考える 地域振興政策と民衆
 の対応 幕内 満雄
 随想「ひとり語り」風
 『登場人物』と私 後藤 彰彦
 書評 吉田俊純著『近世近代の地
 域寺院の展開過程』 常陸国高
 田神社を事例に 伊藤 純郎
 研究会の経過 会報・会誌委員会
 会報 郷土ひたち 郷土ひたち文化研究会
 〒317-0055茨城県日立市宮田町5-2-22
 日立市郷土博物館内 0294-23-3231
 年2000円
 39 2008.7 B5 4p
 横綱吉葉山と日立 榎本 實
 歴史随想(39)
 ふる里の本屋さん(2) 瀬谷 義彦
 風土記に思う(13)
 磯崎俊郎さんと風土記(3) 志田 諄一
 関右馬允氏とその資料 資料は生
 かすもの、心に残るもの
 ひたちの自然誌(39)
 ビワ(枇杷) 水庭 久尚
 歩く見る聞く(21) 幻の堰碑 榎本 實
 資料紹介
 「金満家番付」と久原房之助 吉成 茂
 常総の歴史 斎書房出版茨城営業所
 〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5
 0299-24-0595
 37 2008.7 A5 112p 1100円
 鹿嶋市神野向遺跡の検討 阿久津 久
 『和名抄』にみえる常陸国新治郡
 の郷について(3) 坂門郷(2) 久信田喜一

国指定史跡真壁城跡の調査
 近年の発掘調査から 越田真太郎
 岡部玄徳と「孫沢合戦」 笹岡 明
 交代寄合本堂氏と志筑
 秋田から来た武将 千葉 隆司
 石岡市(旧八郷町)下林 真言宗智
 山派村上山金剛院観音寺の功績
 住職について 観音寺歴代住職
 事績の検討 矢島 英雄
 小川芋銭の旧蔵資料について 北畠 健
 郷土の本 / 受贈図書を紹介コーナ
 -
 水戸史学 水戸史学会
 〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
 但野正広方 029-243-6910
 68 2008.6 A5 92p
 南溪先生小傳(上) 名越 漠然
 水戸義公と堀田正俊殺害事件
 稲葉正休邸訪問の意味 久野 勝弥
 『大日本史』列伝の序について 梶山 孝夫
 農人形 仲田 昭一
 義公の足跡を尋ねて(15) 住谷 光一
 史料翻刻 徳川齊昭御書翰(2)
 (慶應義塾大学図書館蔵) 宮田 正彦
 史 談 安蘇史談会
 〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
 大高八三郎方 0283-24-3232 年2000円
 24 2008.6 A4 163p
 巻頭言
 ふかぶかとした時間の中で 京谷 博次
 古墳時代に生きた安蘇の人びと
 (2) 岩崎 幸弘
 古代逍遥 勝道上人の碑文につい
 て 川田 春樹
 真田信尹(龍岸寺中興開基・真田
 幸村の伯父)を巡る夜話 黒田 哲哉

天命鑄物師小嶋氏と枝姓について 小島 唯一
 元和4年の「檢地帳」に見る“佐
 野庄浅沼村”の風景 京谷 博次
 昭和26年初演 田中正造劇「ここ
 もまた君がみ國のうちならば」
 から 大高八三郎
 万葉集と安蘇の人びと 岩崎 幸弘
 「風林火山」ゆかりの地を訪ねて 篠崎 澄子
 和田嶺合戦(樋橋戦争)の浪人塚を
 訪ねる 篠崎 澄子
 県別の苗字分布(14)
 全国の特有姓5300 塩谷 民一
 戦時下における中島飛行機での体
 験談(1) 大森千哥子
 史料紹介 佐野市高砂町会記録
 “雑誌”を読む(3) 京谷 博次
 寄稿 田蟲地蔵 長谷川 寛
 安蘇史談会主催 第23回「安蘇の
 歴史と風土」講演要旨
 唐澤山城の石垣についての再検
 討 齋藤 慎一
 唐澤山周辺の中世供養塔 京谷 博次
 中世人の死生観
 佐野新都市の発掘から 齋藤 弘
 中世の佐野氏について 江田 郁夫
 唐澤山城周辺の遺跡 茂木 孝行
 平成19年度安蘇史談会日記(07年
 1月1日~12月31日)
 下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会
 〒304-0067茨城県下妻市下妻乙349
 0296-43-3418
 33 2008.5 A5 160p(抄)
 活力みなぎる下妻をめざして 小倉 敏雄
 今の時代 稲葉 本治
 ウォーキングの効用 青柳 正美
 「農民歌人・磯山松男展」に因んで

小島 亮
地域コミュニティについて 山口 衛
下妻市ふるさと博物館の展覧会
展覧会「農民歌人・磯山松男
ロシア文学者中山省三郎との交
流から」を開催して 佐久間秀樹
亡き母の文化 人見 健一
銀のピッケル その後 外山 崇行
下妻から見える山々 安原 正宏
古いピアノものがたり 中山 昇
五街道其外分間延絵図並見取絵図
における「下妻」の記載につ
いて 佐久間秀樹
諏訪部末子さんを悼む 関 千代子
ズイムシの卵 鈴木 賢一
藤田東湖について 国府田 清
「ゴーゴ」 神郡 あさ
平成19年度“活動のあと”
日光山内研修視察 平田 一元
一年のあしあと 寺田 陽子

歴史文だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 028-634-1313
68 2008.7 A4 4p
《下野村落史の新展開》
下野村落史の新展開 松本 一夫
近世中期の村の秩序と由緒(仮) 齋藤 悦正
野沢信元の行動とその背景 龍澤 潤
近世から近現代における下野国の
砥石稼ぎ 芳賀郡三谷村にお
ける砥石稼ぎを中心に 中谷 正克
新刊紹介 『鉱毒に消えた谷中村
田中正造と足尾鉱毒事件の100
年』『渡良瀬100年 自然・歴
史・文化を歩く』『予は下野の
百姓なり 田中正造と足尾鉱毒
事件 新聞で見る公害の原点』

群馬県立文書館だより
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
027-221-2346
www.archives.pref.gunma.jp
45 2008.3 A4 8p
群馬県重要文化財に指定された行
政文書／文化財指定となった
「群馬県行政文書」の概要
特別展・企画展「未来へ引き継ぐ
群馬の遺産 行政文書でひもと
く群馬のできごと」
平成19年度収蔵資料展1「武家文
書の世界(一) 江戸時代の将軍
と老中の文書」開催報告
平成19年度収蔵資料展2「武家文
書の世界(二) 上野国の大名と
旗本の文書」開催報告
新たに収蔵した行政文書／県有施
設の記録を残す／新たに収蔵さ
れた古文書／新たに閲覧できる
古文書
Q & Aレファレンスコーナー
新たな視点で「ふるさと再発見講
座」開催／全国歴史資料保存利
用機関連絡協議会 第33回全国
大会(茨城)
群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県
立文書館内 027-221-2346 年4000円
members.jcom.home.ne.jp/yctanaka/
295 2008.7 A5 104p
随想 史料との出会い 落合 延孝
「辛酸」いまだ定まらず
田中正造、最晩年の足跡 前沢 和之
群馬における絹産業建造物と近代
和風建築 和洋折衷の視点 村田 敬一
武蔵国北部における上州の飛脚利

用 中奈良村名主、野中彦兵衛
を事例に 巻島 隆
群馬県における忠魂碑建設
靖国問題によせて 今井 昭彦
碓氷坂ならびに東山道の比定地に
関する再検証 『神道集』に見
られる「毛無(峯)」の峠名を中
心として 須田 茂
角田柳作展シンポジウムの開催と
記念文庫の開設展示 星野 富夫
平成20年度群馬県地域文化研究協
議会総会並びに第24回地域研究
会(於・東吾妻町)の開催 中島 潔
岩櫃山鷹ノ巣岩陰遺跡と前畑遺跡
高橋 政充
博物館・美術館めぐり 青雲塾会
館併設中曽根康弘資料館
新刊紹介
東日本部落解放研究所編『群馬
県被差別部落史料 小頭三郎
右衛門家文書』 大熊 哲雄
手島仁著『中島知久平と国政研
究会 上下』 正田 喜久
佐藤喜久一郎著『近世上野神話
の世界』 中里 亮平
若狭徹著『古墳時代の水利社会
研究』 右島 和夫
高橋敏著『国定忠治を男にした
女侠 菊池徳の一生』 板橋 春夫
群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
027-223-2785 年4500円
204 2008.5 A5 64p
《特集 沼田市(旧沼田市・利根郡白沢村・利
根村)》
上州真田の里・沼田を歩く 中島 靖浩
忘れられた道「会津街道」 水田 稔

沼田市にゆかりの人物
久米民之助 水田 稔
吹き割れの滝 角田 一男
謙信と信玄
どちらを尊敬しますか 長田 清
日帰り温泉ぶらり旅(5)
渋川温泉きらめきの湯 田口 正美
絵手紙で歩く 上毛かるた(27) 小林 生子
高山彦九郎日記による歴史散歩
(12) 正田 喜久
激動昭和に生きた人々(6)
東宮鐵男と石原莞爾 東宮 春生
新資料紹介
『ぐんまの博物館美術館』 加藤 鶴男
新田義重の寺尾城と七堂遺跡 細谷 清吉
柳生の里(奈良)を訪ねて 山崎 正
205 2008.7 A5 64p
《特集 太田市(旧太田市・新田郡尾島町・
新田町・藪塚本町)》
博物館・資料館／名所・旧跡ガイ
ド／太田イベントガイド
太田市商業観光課
高山彦九郎日記による歴史散歩
(13) 『乙未の春旅』(2) 正田 喜久
歴史散歩35年の歩み 小池 利夫
散歩の出会い 岩島の力石 小池 利夫
続 街角の民俗
八丁注連について 栗原 秀雄
資料 街角の民俗『前橋市民俗文
化財調査報告書』等 栗原 秀雄
絵手紙で歩く 上毛かるた(28) 小林 生子
日帰り温泉ぶらり旅(6)
箕郷温泉 サンエイの湯 田口 正美
芭蕉と上州人 大野 富次
亥年と摩利支天 黒岩 憲
ふるさとめぐり
粕川町歴史散歩の会
月田の古文書を読む(1) 登山 光善

「月田地区文書目録」について 堀口 英三
 柳生の里(奈良県)を訪ねて 山崎 正

武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
 114 2008.6 B5 4p

秋畑和紙の伝統 田中 隆志
 子ども組と天神講 清水 亨桐
 第82回例会記事

郷土はとがや 鳩ヶ谷郷土史会
 〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
 花岡武司方 048-281-3509
 61 2008.5 A5 122p 1000円

巻頭言
 一に泥まらず、一をも捨てず
 鎌倉時代の鳩井氏と鳩ヶ谷郷 永井 晋
 県内の曹洞宗季雲派の活動につ
 て 若松 哲夫
 諸書に鳩ヶ谷を見る(13)
 長屋王家木簡と鳩ヶ谷 加藤 信明
 特別寄稿 隠れた名著『子どもた
 ちの悲鳴が聞こえる』 林 龍
 市文化財だより(12) 発掘でわか
 った鳩ヶ谷の歴史(7) いざ鎌
 倉、中世考古学の出番だ 浅野 信英
 郷土資料館の資料紹介(15)
 明治40年の大水害の記録 島村 邦男
 自分史で語る鳩ヶ谷現代史
 浦寺の昔ばなし 井出野千代子
 日本人類学の先駆者
 鈴木尚先生 花岡 武司
 鳩ヶ谷治水対策事業の現代史 鈴木 務
 戦後60年を回顧する(2) 乗橋 猛
 高野山千蔵院過去帳(7)
 武州足立郡平柳領前田村 小淵 甚蔵
 職員不在の村役場 高瀬 博
 鳩ヶ谷の生物(8)

「ドバト」平和の象徴 藤波不二雄
 課題原稿・一通の手紙とその時代
 鳥類学者・小林桂助とその文通 藤波不二雄

山本五十六から届いた手紙 平野 整
 新刊紹介 半年間に到来の17冊
 目録・概要紹介 スモール.h .グテイ
 小谷三志をめぐる人々(58)
 小谷三志研究史上の人々(1) 岡田 博
 鳩ヶ谷のことは(4) 米山 徹

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会会報
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
 埼玉県立文書館内 048-865-0112
 34 2008.3 A4 22p

総会公開講演会 アーカイブズの
 存在意義 高埜利彦氏
 地域史料実務研修会 電子自治体
 化の進展と電子公文書保存への
 対応 太田 富康
 主管課長研修会「地域史料保存活
 用事業の推進と普及」によせて 関口 豊樹
 視察研修会 寒川文書館参観記 実松 幸男
 第六次専門研究委員会 中間報告 鈴木紀三雄

平成19年度総会報告 / 平成19年度
 理事会報告

埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒350-0231坂戸市泉町12-5 大園口承方
 049-281-4983 年4000円
 294 (55-2) 2008.7 A5 62p

玉敷神社と久伊豆神社 森田 悌
 イタリヤ行使の来秩の日記 栗原 一夫
 武州秩父雑話(2)
 猪股党藤田氏(1) 大墅 鴻風
 全国の公立福祉施設の先駆け

養育院と渋沢栄一 吉橋 孝治
 毛呂山三滝めぐり 内野 勝裕
 懐中電灯 引札(黒田七左衛門)に
 ついて 野本 誠一
 上州南画界の先駆者・柿沼山岳
 (洋羨) 加須市出身(1774~
 1859?) 原口 英雄
 未発表旧稿 深谷市国済寺中世石
 塔の調査(3) 青木 忠雄
 旧修験大徳院学者三代の履歴 大園 口承

日本の石仏
 日本石仏協会(発売:青娥書房)
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
 042-971-6512 年8000円
 www1.jbc.ne.jp/uses/sakibutu/
 126 2008.6 A5 80p 2100円

巻頭随想 石仏は信仰遺産
 大護先生追悼 坂口 和子
 《特集 大護八郎先生追悼》
 石仏への道 大護 八郎
 私の石仏への志向(続) 大護 八郎
 大護八郎著作一覽 編集部
 石神・石仏研究への一筋の道 島 亨
 大護先生と群馬県支部 金井 竹徳
 大護八郎名誉会長を偲ぶ 加藤 和徳
 私の「日本石仏協会」昔語り 石田 益雄
 大護さんを偲ぶ 石川 博司
 「石仏学」提唱
 大護八郎先生を偲ぶ 小松 光衛
 大護先生の思い出 野口 進
 大護先生と拓本講習会 中上 敬一
 ぶらり石仏紀行 たなかよしゆき
 佐久間伽流山の石仏 仲森 勝之
 石塔の基礎知識(16) 岡村 庄造
 「石」を知る(16) 小松 光衛
 石燈籠入門(36) 嘉津山 清
 石仏写真と私(16) 杉本 康希

あ・ら・か・る・と 私の石仏案内
 水野英世 / 井戸寛

富士山遺文拾遺 まるはとだより発行所
 〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
 岡田博方 048-281-4118
 27 2008.6 B5 8p

古今東西宝誼(27) 9条を輸出せよ
 大島有隣先生御説経開扉(24-2)
 『心学問答』拾巻之巻(3)、拾式
 之巻(1) 岡田 博
 有縁機縁録 新刊紹介 『大日光』
 第78号、『高崎経済大学論集』
 第50巻第3・4合併号
 28 2008.7 B5 8p

古今東西宝誼(28)
 禍根を残す外交政策
 大島有隣先生御説経開扉(25)
 『心学問答』拾式之巻(2) 岡田 博
 有縁機縁録 新刊紹介 竹谷鞠負
 著「高田富士に関する資料調査
 と考察」、『収蔵版木展 版木に
 みる富士信仰の諸相』

郷土史研通信 八千代市郷土歴史研究会
 〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
 牧野方 047-484-9728 年3000円
 62 2008.5 A4 8p

報告 平成20年度定期総会と市長
 懇談会
 「再発見八千代」八福神めぐりと
 歴史探訪に参加して 小菅 俊雄
 3月例会 旧平戸村の現地調査 平塚 胖
 高津の相馬大師巡拝に参加して 吉野 静生
 二度目の上洛を果たす 田宮 達夫
 そうだ!! 京都に行こう 藤本 涼輔
 平戸の「お釈迦講」の取材&古墳
 発掘情報 藤 由美

紙魚之友 房総史料調査会
 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
 東京大学文学部日本史学研究室
 23 2008.5 B5 8p
 調査報告
 館山市犬石島田家文書 牧原 成征
 陸沢町上市市場幸治勤家文書 今津 敏晃
 2007年12月 鈴木勝人家文書 於
 大原幽学記念館 房総史料調査
 会参加記 酒井 一輔
 千葉史学 千葉歴史学会
 〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉
 大学文学部内 043-251-1111 年4000円
 hist-g.f.chiba-u.ac.jp/users/chibareid/
 52 2008.5 A5 97p 2000円
 巻頭随想 鳥を気にしてみると 塚本 学
 歴史随想
 『三国伝記』の「飯岡律僧寺」
 のこと 外山 信司
 裁縫学校寄宿生の日記 中澤 恵子
 『房総新聞』廃刊後 矢嶋 毅之
 家中奉公人徴集制度の成立と目的
 出羽庄内藩「振人」制度を例
 に 佐藤正三郎
 宇和島藩の虚無僧対策 長谷川佳澄
 河野敏謙文部卿転任小考 渡辺 昌道
 書評
 坂本忠久著『近世都市社会の
 「訴訟」と行政』 青木 祐一
 針生一郎・榎木野衣・蔵屋美香
 ・河田朋久・平瀬礼太・大谷
 省吾編『戦争と美術 1937-
 1945』 鈴木 一史
 市村高男監修・茨城県立歴史館
 編『霞ヶ浦・筑波山・利根川
 中世東国の内海世界』 石橋 一展
 新刊紹介

南塚信吾著『世界史なんていら
 ない?』 浅田 進史
 東日本部落解放研究所編『群馬
 県被差別部落史料 小頭三郎
 右衛門文書』 福田 美波
 参加記 シンポジウム「北関東の
 武士(もののふ)たち 新しい中
 世武士団のイメージ」 小国 浩寿
 日本村落自治史料調査研究所研究紀要
 〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1
 川村優方 0475-33-5582
 12 2008.7 A5 34p
 近世における歴史的展開と歴史的
 後遺症克服の道筋 近世房総史
 の内容を主軸として 川村 優
 川村優の「歴史的後遺症論」に対する批判
 ・感想
 川村優先生の「歴史的後遺症」論
 を読んで 渡辺 尚志
 川村優氏の歴史的後遺症論につい
 て 井ヶ田良治
 川村優氏「近世における歴史的展
 開とその後の『歴史的後遺症』
 の把握(二)」を読んで 長谷川伸三
 川村優氏の「歴史的後遺症」論に
 寄せて JF.モリス
 所謂「歴史的後遺症」に関する随
 想 丸山 雍成
 川村優博士の問題提起に寄せて 長谷川匡俊
 川村優先生の「歴史的後遺症」概
 念に接して 高野 信治
 川村優氏の近業に思う 所 理喜夫
 「歴史的後遺症」という概念 川
 村優氏の地域史把握の方法論 北原 進
 房 総 川城文庫・藩政史研究会
 〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7

0475-42-3034
 121 2008.6 B5 10
 房総散乱記 川城 昭一
 桑田の大栄寺に残る文書
 観世音菩薩水中感得之記 川城 昭一
 房総の郷土史
 千葉県郷土史研究連絡協議会
 〒260-0855千葉市中央区市場町11-1
 千葉県立中央図書館内 043-222-0116
 年4500円
 36 2008.5 A5 119p
 会長挨拶 樋口誠太郎
 郷土史への夢 室岡 慎二
 私の近況 武井 順一
 戦後の四街道教育史 鶴澤 弘
 みおかわこれくしょん 澁川 定夫
 第35回郷土研総会
 多古町の史跡を訪ねて 樋口誠太郎
 「第1回郷土史フォーラム」開催 秋葉 輝夫
 加州南部漁業の開拓者佐野初治に
 ついて 大場 俊雄
 研究発表要旨
 民具資料館の開設と利用法につ
 いて 石井 祐輔
 江戸時代の小生田村に光をあて
 る 永野 英
 郷土の政治家・板倉中の生涯
 自由・平等・博愛の理念で普
 選運動に立ち上がった人物 秋谷 忍
 元旗本領主上原家から旧名主鳥
 飼家への手紙 帰農旗本のい
 きかたによせて 横山 鈴子
 近世における歴史的展開とその後
 の「歴史的後遺症」の把握(1)
 近世房総史の内容を主軸とし
 て 川村 優
 “脚気先生” 遠山父子と山子学 三浦 茂一

万力村の御狩人足道中記を読む
 嘉永二年小原御鹿狩勢子人足
 の記録 大矢 敏夫
 早川雪洲が売国奴と報道された経
 緯について 大場 俊雄
 匠瑳卿輔の事 石出 聡史
 正覚院釈迦如来像延宝二年の修理
 総州下市場の石塔と武州三輪
 村の板碑 村上 昭彦
 本会顧問児玉幸多先生の御逝去を
 悼む 川村 優
 本会相談役渡辺太助氏の御逝去を
 悼む 樋口誠太郎
 郷土研文化講座・古文書講座/紺
 屋歴史資料室
 新刊紹介 「房州アワビ漁業の変
 遷と漁業法」、「板倉中物語」、
 「明治郵便事始 千葉県におけ
 る発達史」
 房総の石仏 房総石造文化財研究会
 〒284-0015千葉県四街道市千代田3-29-2
 吉田文夫方 043-423-6309 年3000円
 18 2008.6 B5 44p
 分析「松戸の庚申塔」 入谷 雄二
 千葉の仮託礼拝物 隠れキリシタ
 ンを観て歩く 三明 弘
 利根川中・下流の淡島信仰
 野田市を中心として 石田 年子
 再び千葉県の不二道孝心講につい
 て 沖本 博
 月貫山の碑 小倉 博
 石仏資料紹介
 佐倉藩飛地の「堀田宮」 石田 年子
 あしなな 山村民俗の会
 〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
 サトービル 03-5663-6748 年5000円

www8.ocn.ne.jp/~samin/
281 2008.6 B5 36p
安芸高田の簷川伝説 ヤマトノオ
口チ前史伝承をめぐって 小原 清
参考 オロチ伝承の原典 編集室
民俗芸能探訪の旅
青柴垣神事 出雲・美保神社 和田 恵三
四国八十八箇所巡拝記 遍路断簡 秋澤 英雄
杖立峠のこども
阿波・剣山山麓 松家 晋
ゲンバさまとは？ 土佐・佐川町 岩田 英彬
半びな話を語りつく
日向のおどけばなし 矢口 裕康
「一足跳び」考
対馬盲僧の伝承など 村山 道宣
旅の草ぐさ(6)
「石見銀山」探訪での話 世界
遺産指定をめぐって 佐藤 芝明
鬼火 薩摩・阿久根市高之口 柳生 康史
足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 03-3620-9393
483 2008.6 A4 4p
「千住の鷗外碑」の建立
森家旧宅の地に 編集部
押部の百万遍 西山 純男
都市近郊の農産物を追う(12)
金町小かぶ(2) 荻原ちとせ
お知らせコーナー
485 2008.7 A4 4p
千住四丁目氷川神社の山車 7月
20日の解体と保存調査 編集部
山車からくり解体見学会
年中行事のいろいろ(7月~9月) 瀬田 良雄

都市近郊の農産物を追う(13)
金町小かぶ(3) 荻原ちとせ
お知らせコーナー
足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 03-3620-9393
243 2008.6 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(80) 新教育指針 堀川 和夫
区民教養講座の講演資料より 足
立区における私学振興の人・堀
内亮一とその系譜(5)
松戸・戸定館界隈探訪報告
244 2008.7 A4 4p
「千住鷗外碑保存会」の発足
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(81) 新教育指針 第三
章人間性・人格・個性の尊重 堀川 和夫
区民教養講座の講演資料より 足
立区における私学振興の人・堀
内亮一とその系譜(6) 最終回
6月栗橋探訪報国
あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-002 東京都府中市南町6-32
042-368-7921
www.fuchu-qcf.or.jp/museum/
84 2008.6 A4 8p
川崎平右衛門の墓めぐり(1)
府中市押立町 龍光寺 馬場 治子
展示会案内 特別展 発掘！府中
の遺跡 発掘された戦争の記憶
&調査速報 深澤 靖幸
展示会案内 テーマ展45 府中市
の念仏講 人を送る、つどう 佐藤 智敬
最近の発掘調査 市史跡武蔵国衙

跡の保存整備と公開 荒井 健治
NOTE 江戸時代に掘り出された
銭 中世大量埋納銭の記録 深澤 靖幸
from Tom to Hana 新米学芸員の
交換日記(1) 知っていました
か？八幡町今昔 Tom
平成19年度寄贈・寄託資料一覧
リニューアルトピックス 展示室
再生(9)「こども歴史街道」構
想
板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
03-5398-2682
246 2008.5 A5 47p
寄稿 成増陸軍飛行場記(6) 山下 徹
銃士 斎藤弥九郎(3)終 中村 正宏
旧中山道ひとり歩き(14)終 安西 久
「東宮降誕記念植桜之碑」の整備 坂田 宏一
写真探訪 板橋の地名(6)「小豆
沢」(4) 舟渡山(後・承前) 大澤 鷹邇
写真ニュース(6)
「板橋七福神ご開帳」 井上 富夫
史蹟を訪ねて(5) 東京都板橋区
清涼寺と港区愛宕山へ 猪瀬 尚志
ひろば
旧中山道ひとり歩きを読んで 若栗 学
奥武蔵 奥武蔵研究会
〒188-0011東京都西東京市田無町7-12-21-
302 浦野要方
362 2008.7 B5 19p
今年も半分が過ぎた 浦野 要
奥武蔵、秩父の獅子舞(24)
上名栗、星宮の舞 関口 洋介
新たに上梓された奥武蔵の郷土誌
2冊 町田 尚夫
奥武蔵研究会と健康を考える 木本 和男

山行報告
北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 03-3907-0040
88 2008.5 B5 8p
第303回月例研究会 2月23日(土)
教育制度の変遷 原田 静男
第304回月例研究会 3月8日(土)
海外団体旅行の今昔... 戦後最
初の訪欧団体旅行団の奮闘記 大澤 栄美
寄稿 お稲荷さんの狐 長塚 梅子
第305回史跡研究会 4月5日(土)
古くて新しい中山道・石神井川
・鎌倉街道 芦田正次郎
下町文化
江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383 東京都江東区東陽4-11-28
03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp
242 2008.6 A4 8p
こうとう文化財まつり開催！
区外史料調査報告 深川に大名屋
敷がやってきた 元禄期の津山
藩邸 龍澤 潤
芭蕉記念館新展示企画展「近現代
の俳句を支えた人々」 中村美樹子
平成20年度中川船番所資料館企画
展示「銀鱗跳躍 夏の魚・鮎と
人々」 中林 哲雄
囲炉裏ばた(大石家日記)(8)
夏の風物詩 簾を展示 向山 伸子
江東外伝発見伝 源頼朝墓・島津
氏墓と三井親和 赤澤 春彦
品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
03-3777-4060

23 2008.3 B5 130p
 特別展「日本考古学は品川から始
 まった 大森貝塚と東京の貝塚
 」の開催 坂詰 秀一
 私の大森貝塚に関するいくつかの
 思い出 齋藤 忠
 展示批評
 特別展「日本考古学は品川から
 始まった」展示について 小林 達雄
 特別展「日本考古学は品川から
 始まった」を見て 古泉 弘
 特別展「日本考古学は品川から始
 まった」開催経過 本間 岳人
 モースの著書の意義 『大森貝塚』
 と『日本人の住まい』を中心に 関 俊彦
 モースの古墳研究 池上 悟
 品川区政60周年記念巡回展「写真
 で綴る品川の60年」展示概要
 「写真で綴る品川の60年」をふり
 かえって 塚越理恵子
 大井地域の地籍図の詳細調査 星野 玲子
 品川台場警衛体制下における東海
 道品川宿への影響 鳥取藩発給
 文書の検討を中心に 富川 武史
 史料紹介 東京都江戸東京博物館
 所蔵『北品川稲荷門前文書』に
 ついて 石山 秀和
 児玉幸多品川歴史館名誉館長を悼
 む 坂詰 秀一
 元品川歴史館専門委員 小木新造
 氏を悼む 柘植 信行
 十條村研究 榎本龍治
 〒114-0034東京都北区上十条3-29-21
 シェルムアイ303 03-3905-4699
 25 2008.6 A5 23p
 下十条村の復元(3)

七軒町ズシ(後) 榎本 龍治
 十条村幸龍寺領の村役人について 榎本 龍治
 資料紹介 七軒町『月番帳』
 七軒町ズシ地図
 西郊民俗 西郊民俗談話会
 〒160-0016東京都新宿区信濃町32-25
 大島方 年2000円
 203 2008.6 B5 41p
 那智山と遠洋漁業 青岸渡寺の魚
 霊供養碑をめぐって 高木 大祐
 姫路市豊富町の食生活 近藤 真弓
 老ノ坂の子安地藏 大島 建彦
 浅草の久米平内 長沢 利明
 妖怪の性格検査試論(下) 高橋 成
 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
 会報
 〒558-0054大阪市住吉区帝塚山東2-1-44
 大阪府公文書館 06-6675-5551
 www.jsei.jp
 82 2008.6 B5 24p
 文書管理法(仮称)制定に向けての
 要望について 上川陽子公文書
 管理担当大臣宛に提出しました 村田 茂
 文書管理法(仮称)
 文書管理法(仮称)に向けた全史
 料協の活動 小川千代子
 公文書館制度の確立に「効く」
 文書管理法を 豊見山和美
 機構改革 組織・業務改善計画/
 個別具体化計画の進捗状況 総務委員会
 EASTICA(国際文書館評議会東ア
 ジア地域支部)第8回総会および
 セミナー、公開シンポジウム参
 加報告 柴田 知彰

資料保存研究セミナー アーカイ
 ブを未来に デジタルアーカイ
 ブの光と影
 講義 デジタルアーカイブと長期
 保存 アーカイブは未来へのメ
 ッセージ 講師・小川千代子
 特別講義(事例報告) 建築資料を
 中心としたリアル/バーチャル
 アーカイブの構築 講師・研谷
 紀夫
 パネル討議 参加者との議論/研
 究セミナー・アンケートの概要
 資料保存研究セミナー 参加報告
 デジタルデータの可能性 柳衛 悠平
 緊急報告 中越大地震、中越沖地
 震 2度の震災をかえりみて 本井 晴信
 委員会レター
 大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-
 101 光田憲雄 03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/
 170 2008.6 A4 2p 100円
 半田行人/すたすた坊主新資料
 誓文弘『麓の花巻』『続縁石十
 種』巻三)/笠森お仙
 171 2008.7 A4 2p 100円
 栗餅の曲搦/「写し絵」と「紙芝
 居・映画」
 多摩地域史研究会会報
 〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
 文化財COM内 042-521-0186
 84 2008.5 B5 18p
 第61回例会報告
 府中の中・近世を歩く 梶原 勝
 立地と景観から考える多摩の中世
 (前期)寺院 江戸期の地誌・絵

図と近代地形図を手がかりに
 (3) 馬場 喜信
 全国戦跡132番目の文化財(旧跡)
 指定 東京陸軍少年飛行兵学校
 跡地 成迫 政則
 新刊紹介 畑尚子著『幕末の大奥
 天璋院と薩摩藩』 梶原 勝
 多摩のあゆみ たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 たましん国立支店内 042-574-1360
 年1200円 www.tamashin.or.jp
 130 2008.5 A5 120p
 《特集 デジタル地図の可能性》
 東京デジタル重ね地図の可能性 森田 喬
 水みちからみた多摩、武蔵野のな
 りたち 神谷 博
 地形から読む地域の形成史
 杉並を中心に 陣内 秀信
 多摩の風の通り道と緑・水の冷却
 効果 出口 満孝
 多摩~武蔵野の歴史的風致の再生
 考 日野の用水路と国分寺崖線
 をフィールドとして 高橋 賢一
 さし絵のなかの多摩(42) 多摩の
 板碑と好古の旅人 『江戸名所
 図会』平維盛古墳図の風景 齋藤 慎一
 洋風建築への誘い(19)
 吉祥寺東町 藤山宅 伊藤 龍也
 建物随想記(14) 記憶を採ること 酒井 哲
 本の紹介
 縣敏夫編著『高尾山の記念碑・
 石仏』 外山 徹
 八王子・日野カワセミ会編『数
 え上げた浅川流域の野鳥2』 清水 徹男
 東村山ふるさと歴史館編 特別
 展『正福寺展図録』 稲葉 和也

地方史研究
 地方史研究協議会(発売:名著出版)
 〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
 名著出版内 03-3816-0739 年6600円
 333(58-3)2008.6 A5 126p 1200円

17世紀の漁業地域における秩序と
 領主の関係性 伊豆国内浦・駿
 州五ヶ浦地域を対象に 中村 只吾
 明治・大正期における府県写真帖
 の成立 三木 理史
 シンポジウム「歴史資料保存利用運動のな
 かの公文書館法 その理念と現実」
 「歴史資料保存利用運動のなかの
 公文書館法 その理念と現実」
 を終えて 文書館問題検討委員会
 地域アーカイブズの役割を考える
 公文書館法の意義および今後
 の展望について 高橋 実
 公文書館法運用の実態と問題点に
 ついて 群馬県の取り組みを中
 心に 岡田 昭二
 資料保存利用機関の中の公文書館
 の特質について 神奈川県にお
 ける図書館・博物館・公文書館
 の関係を通して 寺崎 弘康
 シンポジウム「歴史資料保存利用
 運動のなかの公文書館法」参加
 記 高江洲昌哉
 第49回日本史関係卒業論文発表会
 要旨
 五社神古墳立ち入り調査について
 学術体制小委員会
 「新時代」の渦中で 第33回全史
 料協全国大会(茨城大会)に参加
 して 北島 隆行
 展示批評 神奈川大学21世紀CO
 Eプログラム実験展示「あるく
 身体記憶」展 富澤 達三

書評 地方史研究協議会編『東西
 交流の地域史 列島の境目・静
 岡』 樋口 雄彦
 企画例会「シリーズ地方史の現場」
 報告要旨 田中和之/小宮雪晴

千代田区立四番町歴史民俗資料館だより
 〒102-0081東京都千代田区四番町1 03-
 3238-1139 rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp
 28 2008.7 A4 8p

特集 平成20年度企画展「あきな
 いの空間」開催 加藤 紫織
 収蔵庫から 絵図を読み解く 高木 知己
 目で見える千代田の歴史(4)
 近世(1) 滝口 正哉

区内文化財案内
 鏝 絵 小山 貴子
 三番町遺跡発見の縄文住居 水本 和美

千代田区ミュージアム連絡会参加
 館の紹介 衆議院憲政記念館

東京産業考古学会 東京産業考古学会
 〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
 多田統一方 FAX03-3964-8548
 74 2008.6 B5 12p

千葉県の産業遺産 平井 東幸
 小栗忠順よみがえる 奥村 正二
 明大博物館の展示から 戦
 争の間、仕上工見習いで働いて
 (2)(金属労働研究 第88号よ
 り抜粋) 岩淵 誠一
 エジソンの研究所兼工場 河合 恭平
 研究所めぐり 多田 統一
 赤煉瓦探訪(21) ブリック・マイ
 スター鬼頭日出雄(1) 八木 司郎

練馬郷土史研究会会報
 〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31

吉越正博方 03-3996-4454
 315 2008.5 B5 4p

練馬の大泉にもあった「満蒙開拓
 訓練所」と「大陸の花嫁学校」
 (5) 今井 忠男
 19・1月例会講演 橋戸・備中庄
 (莊)氏の足跡を訪ねて(7) 莊 正
 彰義隊士 大岩衆正の系譜考(2)
 墓碑を手がかりとしての 日向康三郎
 316 2008.7 B5 4p
 練馬区ゆかりの酒銘柄 伊藤 一美
 彰義隊士 大岩衆正の系譜考(3)
 墓碑を手掛かりとしての 日向康三郎
 19・1月例会講演 橋戸・備中庄
 (莊)氏の足跡を訪ねて(8) 莊 正

練馬古文書研究会会報
 〒177-0044東京都練馬区上石神井3-2-35
 蜷川方 03-3920-7847
 www.2u.biglobe.ne.jp/~shiba/
 40 2008.6 B5 4p
 講演録「慶安御触書」をめぐる
 歴史教育と歴史研究 深谷 克己
 「木下家文書」の“津田右太夫”を
 尋ねて(下) 下練馬村から山陽
 道まで 鈴木 義範
 明治の改暦 谷 年郎

練馬区地名研究会会報
 〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
 飯塚芳男方 03-3992-0264 年2500円
 83 2008.5 B5 6p

第83回例会 尾州様御鷹野(江戸
 内)(研究発表要旨) 矢谷由美子
 荒川線の車窓から見た江戸・東京
 の地名(研究発表要旨) 新井まさし
 沼辺・西村考 上石神井の旧小名
 下島 邦夫

大泉第一小学校の御鷹場杭につい
 て 宮城 正勝
 宮城さんを悼む 桑島 新一
 地名類型を考える(9)
 ヤのつく地名 後藤 光
 84 2008.7 B5 6p

第82回例会 練馬の気候と東京の
 ヒートアイランド・地球温暖化
 谷治 正孝
 第84回例会 絵馬の発生と展開 佐藤 光治
 久保研究グループ報告(5) 後藤 光
 平成20年度総会報告
 シャグジとは何か
 諸説を読む(続) 下島 邦夫
 地名の上下は京都中心ではない?
 今尾恵介「地名の社会学」(新
 刊紹介)

民衆史研究 民衆史研究会
 〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
 早稲田大学文学部 大日方研究室内
 75 2008.5 B5 70p 1500円
 《特集「医療の国民化」を考える
 現代史のなかの医療と民衆》
 特集にあたって 民衆史研究会委員会
 戦前・戦時の都市民衆と医療
 東京市の事例から 中村 一成
 戦時・戦後の保健医療問題と農村
 社会 農村診療所の開設をめく
 る対抗 鬼嶋 淳
 「医療の国民化」と「福祉国家」 高岡 裕之
 シンポジウム討論要旨

書評
 関口すみ子著『国民道徳とジェ
 ンダー 福沢諭吉・井上哲次
 郎・和辻哲郎』 小園 崇明
 渡辺尚志著『惣百姓と近世村落
 房総地域史研究』 中西 崇

展示会批評 千代田区律千代田図
書館企画展示「千代田図書館蔵
内務省委託本『今に遺る検閲の
痕跡』」 鷹田 修

明治維新史学会だより
〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
国土館大学文学部 勝田政治研究室
03-5451-8171 www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
9 2008 5 B5 10p

2008年度第38回大会報告要旨
近世身分制解体と土地所有
維新期の武土地に着目して 横山百合子
幕末の琉球王府と薩摩藩 仏国船
の琉球来航問題を中心に 岡部 敏和
狂歌「泰平のねむりをさますじや
ふけせん」は、ペリー来航当時
確かに存在したか(仮題)
岩下哲典/田中葉子
福地源一郎における旧幕論の射程
岡安 儀之

近代における「草莽像」の創出と
地域の歴史認識 清河八郎顕彰
活動の展開を通じて(仮題) 長南 伸治

2007年度秋期大会記事
2007年度明治維新史学会秋期大会討論要旨
西澤直子氏「福澤諭吉の家族論
家産・家業の視点から」 長沼 秀明
荒武賢一朗氏「幕末維新期の大坂
御用場 大名・旗本におけるも
うひとつの大坂拠点」 針谷 武志
今村直樹氏「藩社会の「遺産」を
めぐる近代地域社会と国家 旧
熊本藩領における「民属金下戻
運動」を事例に」 鶴飼 政志
富澤達三氏「時事錦絵」として
の錦絵新聞 錦絵版『東京日々
新聞』を事例として」 吉岡 拓

委員会だより

明治大学博物館友の会会報
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
03-3296-4448 年3000円
www.meiji.ac.jp/museum/
17 2008 7 B5 8p

結成20周年記念式典・2008年度友
の会総会開催される 2008年度
事業計画及び予算が承認
会長就任にあたって 長野 陽次
長い間のご厚誼に感謝いたします
藤野 正治

遺跡見学会報告
比企の地域の古墳を訪れる 乃村 晴久
会員のひろば 夏の「玉」 岸井 貫
明大コレクション2「人物埴輪と
馬形埴輪」より 舟塚古墳の馬
形埴輪 忽那 敬三

目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方 03-3711-3959
641 2008 6 B5 8p 150円

バス見学会参加記 桜川、益子の文化財巡り
目黒 英夫

柿の木坂のいわれ 田丸 太郎
会報にみる目黒の昔(7) 編集部
慶応二年、京都では 橋口 明子
路線バスに乗って区内案内(2) 平山 元也
城南郷土史研究協議会報告 編集部
「廻国」印の出土その他 竹田 務
642 2008 7 B5 8p 150円

思い出をありがとう
目黒区立第六中学校 高林すみ子
柿の木坂の柿 田丸 太郎
会報にみる目黒の昔(8) 編集部
慶応三年、御救金割渡帳 橋口 明子

衾中根の墓堀順帳 栗山 佳也
肥前稲荷大明神縁起
「資料集 私達の町・柿の木坂の
移り変わり」(3)
東光寺と吉良三代の墓(1) 竹田 務

論集きんせい 近世史研究会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
03-3812-2111
30 2008 5 B5 88p

近世日本の唐人処罰「日本之刑
罰」の適用をめぐる 彭 浩
江戸幕府御家人の任用制と役職構
造 近世後期の關所物奉行手代
を事例として 山本 英貴

近世後期における神楽師の存在形
態 神楽元締・市場村萩原家を
素材として 小林 紀子

史料紹介
平松時行『女院御用雑記』(宝
暦3年) 翻刻と解題 女御院所研究会
1854(安政元)年の別段風説書蘭
文テキスト 西澤美穂子/松方冬子
『論集きんせい』第1~30号総目次
近世史研究会

近世史研究会活動報告

小田原史談 小田原史談会
〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13
植田方 0465-48-9072 年3000円
214 2008 7 B5 28p

西相模における時宗の痕跡 東 好一
小田原宿と参勤交代 中村 静夫
西岡逾明 ある文人司法官の生涯
(3) 直江 博子
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
続・酒匂史談(5) 川瀬 速雄

諸白小路に住んだ人々 隠岐 明重
三浦半島史跡巡りの旅 田中 豊
片岡日記(40) 片岡永左衛門
国府海の開発と山崎金五右衛門 内田 武雄
葦山・修善寺方面史跡めぐり
実施報告
小田原漆器の焼き物一筋
斉藤讓三さん(83歳)に聞く
鳥居泰一郎/佐久間俊治
平成19年度総会報告

鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 0467-22-6300
105 2008 6 A5 102p 1500円

重源弟子空諦の仏舎利盜掘事件と
鎌倉 伊藤 一美
大化前代の鎌倉地域と関係氏族 篠原 幸久
幡が飛ぶ伝説
伝統の伝播を考える 山崎 祐子
小田原北条氏の築城技法 岩本 誠城
特集・鎌倉学 近世鶴ヶ岡八幡宮
における境内諸堂の様相 下宮
廻廊と『快元僧都記』以降の諸
相 浪川 幹夫
八雲神社の石碑銘 佐藤 一
浄妙寺所蔵「持氏屋舗一件之日記」
鎌倉古文書研究会
訓註『古月禅師四會録』(13) 鈴木 省訓
建長寺近世史料(13) 三浦 浩樹
神奈川の窓(22)
「地方史研究」から 井上 隆男

クロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円
113 2008 5 B5 6p
城下町の民俗的世界

小田原の年中行事(2) 西海 賢二

さがみはら市史編さんだより
相模原市総務部総務課市史編さん室
〒229-0021神奈川県相模原市高根3-1-19
042-750-8025
www.city.sagamihara.kanagawa.jp
42 2008.5 A4 4p
紹介・手前味噌 必読・必見 市史『現代資料編』
『現代通史編』刊行に向け始動 / 温度・湿度を観測 / 本編のほか
に報告書3冊の刊行を予定 自然編
43 2008.7 A4 4p
半世紀を経て! 返ってきた農地委
員会文書 田名農地委員会資
料 / 『自然編』いよいよ今年度
刊行 / 彫刻・絵画・古文書を重
点的に 社寺調査 / 『現代通史
編』構成の骨格決まる / 講演会
を開催 / 資料の生きるまで(1)

DJIレポート 国際資料研究所
〒251-0045神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-
24 0466-31-5061
74 2008.5 B5 6p
今年のアーカイブイベント
DJIの視点 文書管理法(仮称)制
定にむけて アーカイブ・レス
キューを考える 小川千代子
世界アーカイブ宣言草案・訳 小川千代子
やぶにらみ文献紹介

日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 044-812-1191
www8.ocn.ne.jp/~timeiken/

67 2008.5 B5 4p
文化功労者 受賞祝賀会での谷川
先生のお礼のご挨拶 谷川 健一
今年も頑張ります!
熊本地名研究会 小崎 龍也
一周年を迎えて
伊賀の國地名研究会 池田 裕

扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 0465-22-8852 年2500円
20 2008.6 A5 92p 500円
小田原の文学発掘(14) 山岳文学
のさきがけ 辻村伊助のこと 岸 達志
遙かなる竹林 茂木 光春
酒匂だより 町田紀美子
尊徳を研究した宣教師アームスト
ロング 尾上 武
新城城と亀姫 小田原谷津の永久
寺と桃源寺 今川 徳子
狐火幻想 佐宗 欣二
竹の子 宮本 佳子
来大連的信(6) 水谷 紀之
足柄を散策する(11) 文学遺跡を
尋ねて 我が産土の町・小田原
(7) 杉山 博久
疎開が来た 中野 文子
戦時に残された記憶と巡りあうこ
と 平倉 正
「狩川」に関するヘンな話 木村 博
足利周辺の碑文を探る(4) かつ
て英雄と称えられし時あり 忠
魂碑考 平賀 康雄
「通りゃんせ」なぜ帰りは恐いの
か 石口健次郎
安叟宗樞(18)
安叟和尚の伝記を読む(10) 青木 良一

民具マンスリー
神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
045-481-5661 年3500円
482 (41-2) 2008.5 A5 24p 350円
「吉野林業用具と林産加工用具」
の重要有形民俗文化財指定につ
いて 森本 仙介
民具資料データベースの構築と拡
張 民具データベースから民俗
データベースへ 中上 哲也
書籍紹介 『兵庫県指定文化財 旧
入江家住宅 総合調査報告書』
齊藤 純
483 (41-3) 2008.6 A5 24p 350円
岩手県浄法寺産のアバ 工藤 統一
会津地方の産育儀礼と祝着 佐々木長生
民具短信 ヒブリの道具 大野 一郎
484 (41-4) 2008.7 A5 24p 350円
湖東における家印の機能(1) 松本 晴菜
河内平野の四季 川口 哲秀
書籍紹介 『農具図解』 渡部 景俊

歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒249-0007神奈川県逗子市新宿4-13-13-
903 大町頼勝方 0468-72-1293
60 2008.5 B5 48p
平成20年度を迎えて 大町 頼勝
戦国末期の武将 中田加賀守(2) 八城 東郷
何故秀吉の軍門に下ったのか
関東の雄後北条氏の滅亡 加藤 導男
幕末の徳川將軍家と薩摩藩島津家 横山 忠弘
伊藤博文と夏島憲法(明治憲法起
草秘話) 堀江 洋之
エッセイ メダル 八城 東郷
平成19年度第2回歴史散歩 川崎
・多摩・稲毛の里と自然と歴史

と文学
歴史一口メモ(20) 前部 謙蔵
歴史物語 不吉の予兆 石川 勝義
平成19年度第3回歴史散歩
鎌倉幕府攻防の地を訪ねて
神宮皇后伝承地 鮎釣り神占いの
玉島神社と松浦 田辺 英治
倭人伝雑考(1)
倭人伝の背景・要旨 間淵二三夫
伊勢平氏の興亡 竹村 統一
東海道本線建設の歩み(6) 鈴木 英男

中 部

新史料協だより
新潟県歴史資料保存活用連絡協議会
〒950-8602新潟市中央区女池3-1-2
新潟県立文書館内 025-284-6011
13 2008.3 A4 10p
文書館整備の追い風 倉地 一則
平成19年度総会報告 桑原 洋
平成19年度公文書保存・活用講座
講演「歴史資料として重要な公
文書等」と個人情報の関わり
公文書館制度と個人情報保
護制度の中で 渡辺佳子 藤塚 明
平成19年度研修会報告 鈴木 秋彦
古文書作業部会報告 長谷川 伸
中越沖地震の被災・対応報告 金垣 孝二
研修会参加記
全史料協茨城大会 田辺 芳春
新史料協研修会 大出 聡子
市町村消息・短信(上越市・十日
町市・佐渡市・聖籠町)

長岡郷土史 長岡郷土史研究会
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
0258-36-7832 年3500円

45 2008.5 B5 284p
直江氏の居城 与板城跡について 鳴海 忠夫
直江兼統の書状を読む 田中 洋史
長岡の大地の歴史
日越地区を中心に 池田 光知
古代のロマン広がる寺泊・和島地
域 田中 正徳
越後の「太平記伝説」 深滝 純一
長尾景虎の「判始」 古志郡の守
護領と郡司支配の消滅 土井 重男
土地争いの訴訟と文書利用 蓮平
村庄屋中家文書を中心に 小林 良子
長岡領の女性の旅を考える 田所 和雄
洪水による川筋の変動と村の移動
飯島村を中心として 今井 雄介
長岡藩政と農民の暮らし 五人組
・寺請・村寄合について 小片 莊平
花井の昔 NCT放送を終えて 河野 政雄
幕末期長岡領に見る遊行上人の通
過 本山 幸一
河合継之助の政治姿勢(5) 稲川 明雄
杉本鉞子の面影をたずねて
カレッジヒルの人々 青柳 保子
時計商 鶴巻栄松 内山 弘
長岡に離着陸した飛行機のあれこ
れ 志水 博
飯塚の誇るべき活眼の先人 広川
広四郎について 内藤 孝
西蔵王「山崎家文書」にみる山崎
晃・正の足跡と活動(1) 北越
製紙時代およびファイバー加工
業への進出を中心に 松本 和明
近代における「停車場通り」の変
遷物語 吉澤 俊夫
心友となった山本五十六と堀悌吉
古田島吉輝
山古志地域の色鯉と角突き(前)

山古志地域の歴史的風土を探る 滝沢 繁
越後山古志郷 歴史の峠道 広井 忠男
『長中野球の思ひ出』について(1)
細貝 隆司
「一九四五・長岡戦災消失図」制
作中の思い出(10) 柿川流域の
こと 桜井 修
聞き書き 故中川利夫さんの語る
長岡花火 長谷川健一
巡見報告
山古志地域探訪記 真島 健一
阿賀野市歴史の旅 小林 良子
中之島地域探訪報告 遠山 典子
学習会 事例発表等の報告
長岡藩内の農民の暮らし 恩田 孝重
開催報告 平成19年度古文書解説
講座 稲垣美知子 / 西和美 / 嘉瀬宏美
報告 新潟県中越地震の被害状
況(4) 金垣 孝二
第45号記念
皆様方のご支援で、五十周年目
を。 隠居の回顧録 吉澤 俊夫
第四十五号に寄せて
創立五十周年への思い 今井 雄介
長岡郷土史総目次(第30号~第
44号)
新潟県立文書館だより
〒950-8602新潟市中央区女池3-1-2
025-284-6011 www.lalinet.gr.jp/mpa/
10 2008.3 A4 6p
閲覧利用に関するQ & A(1)
展示紹介 公文書等に見る新潟県
の災害と復興
新たに閲覧可能となった文書等
(19.4~20.3)

新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
025-262-6830
59 2008.6 A5 85p
特集 私の研究半生 小林 昌二
中世戦国期武家における起請文の
機能について 越後国と安芸国
を中心に 鶴巻 薫
米沢藩『本草考彙』研究序説 佐
藤中陵と曾榮および好生堂に関
する新資料 岩本 篤志
萬代橋下流橋試掘調査出土木簡に
ついて 田中 暁穂
書評・新刊紹介
橋本博文監修『佐渡を世界遺産
に』 會田 貴生
小林昌二監修『日本海域歴史大
系』全五巻 菊地真 / 飛鳥井拓
良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 025-222-2262
121 2008.7 B5 24p
良寛遺墨解説(79) 加藤 信一
良寛尊像つれづれ(83) ひょうた
ん絵「良寛と貞心尼」 長岡市
与板 布施一喜雄作 涌井 茂
折々の良寛(10) 良寛 高野紀行
の碑とさみづ坂 長谷川義明
全国良寛会長岡大会盛會に / 全国
良寛会役員会報告 加藤 信一
壮年良寛 円通寺入山から五合庵
定住まで 富澤 信明
良寛鉢叩き説
良寛空白期間の謎を解く(3) 平松 真一
島崎に住んだ良寛 清野 精合
有願和尚没後二百年・新潟市政令

都市移行記念 有願遺墨展開催
される 加藤 信一
各地良寛会紹介
「佐渡良寛会」の紹介
トピックス / 新刊紹介 / 会報・会
誌紹介
別冊 2008.7 B5 16p
良寛生誕250年記念長岡大会 良
寛禅師の真髓について 悟りと
涅槃妙心を得ておられた 長谷川洋三
たてはく 人と自然の情報交流誌
富山県立山博物館
〒930-1406富山県中新川郡立山町芦峯寺
93-1 076-481-1216
www.wm.toyama.nitt.ac.ni.jp/tateyama/yama/museum/
65 2008.7 A4 4p
平成20年度特別企画展「大衆・山
へ 大正期登山ブームと立山」
岡田 知己
平成20年度特別企画展「葉草と立
山」 嘉藤 潤一
たてはく探検隊 澤田 昭芳
青葉呈茶会と富山馬酔木会の吟行
会 福江 充
北陸石仏の会研究紀要
〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 0763-32-2772 年3000円
9 2008.6 B5 57p
無智念仏行者光導の名号塔を訪ね
て 滝本やすし
無智念仏行者名号塔(団子念仏碑・
円形字名号)の源流を訪ねて 平井 一雄
群馬県に旅して十二支の石仏を知
った 北村 市朗
金沢市小立野善光寺坂について思
いがままに 北村 市朗

流れてきた地蔵さま 池田 紀子
 板碑傷文「阿字十方」と西住塚 尾田 武雄
 富山市婦中町牛滑 若松次郎宅
 蔵 陶製牛嶽権現調査報告書 尾田 武雄
 となみ散居村の石仏語る
 シンポジウム報告
 『北陸石仏の会研究紀要』目次 /
 北陸石仏の会例会の軌跡

 石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 076-262-3236
 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
 88 2008.7 A4 6p
 夏季特別展「世界大風呂敷展 布
 で包むものと心」世界の風
 呂敷
 歴博特選・おすすめの歴史散歩コ
 ース(3) 金沢城をめぐる 永井 浩
 催事日録/れきはくトリヴィア
 石川橋の高欄

 福井県地域史研究 福井県地域史研究会
 〒910-0003福井市松本1-30-20
 松原信之方 0776-23-7829
 12 2008.6 A5 121p
 大安寺の田谷寺跡より発掘された
 埋蔵金について 朝倉教景(宗
 滴)の知行所との関係について
 松原 信之
 福井県における藩政機構
 「貞享の半知」を中心に 舟澤 茂樹
 江戸時代中後期の越前幕府領支配
 の変遷 幕府の年貢増徴策を中
 心に 藤野 立恵
 幕末期、福井藩の他国交易につ
 いて 横浜・長崎・下関における
 本川 幹男

明治初年における福井藩惣会所に
 ついて 吉田 徹
 性玄寺・熊堂正琳寺の廃寺事件と
 玄性寺の再興 松原 信之
 福井県地域史研究会活動記録

 武田氏研究
 武田氏研究会(発売:岩田書院)
 〒406-0032山梨県笛吹市石和町四日市場
 1566 帝京大学山梨文化財研究所内
 055-263-6441 年4000円
 38 2008.5 A5 52p 1200円
 『甲陽軍鑑』の古文書学
 『甲陽軍鑑』の史料論(4) 黒田日出男
 戦国期東海地方における貫高制の
 形成過程(下) 今川・武田・徳
 川氏を事例として 平山 優
 史料紹介 高野山成慶院『甲斐国
 供養帳』(2) 『甲州過去古帳』丸島 和洋

 飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
 0265-53-4670 www.city.ichiba.nagano.jp/iikr/
 34 2008.6 A4 4p
 本棟造の調査研究を行っています
 第6回飯田市地域史研究集会/飯
 田アカデミア2008/歴研ゼミだ
 より/2008年度基礎共同研究・
 基礎研究のテーマをご紹介します
 /新スタッフ紹介/情報募集
 市民の声 歴研は「人・地域・
 世界の架け橋」 桐生 賢蔵

 伊 那 伊那史学会
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
 0265-22-6017 年5500円
 961(56-6)2008.6 A5 68p 600円
 《特集 田中芳男の胸像復活記念号》

口絵 田中芳男 田中 義信
 胸像制作等をめざす募金活動をふ
 り返って 伊藤 篤
 田中芳男胸像の周辺 牧内 雪彦
 主なき台座に朗報 富田 泰啓
 田中芳男の胸像の制作に期待する
 小林 正佳
 田中芳男に思う 吉村 利文
 田中芳男胸像への讃歌 平澤 秀明
 偉大なる田中芳男 胸像に思いを
 小椋 昭二
 「顕彰会」設立と「顕彰碑」完成
 まで 川上 武男
 伊勢市との交流と田中芳男 塩澤美登里
 芳男の墓は台東区の史跡に 羽場崎清人
 座光寺の旧恩を忘れず 牧内 雪彦
 日本農学の開祖はリンゴのつぎ木
 も試みた 西尾 敏彦
 わが国近代化のもうひとつの『花
 神』 田中芳男 西尾 敏彦
 田中芳男と市木のリンゴ 北城 節雄
 資料紹介 田中芳男のリンゴ解説
 田中 義信
 ソメイヨシノの発見者 田中芳男
 北城 節雄
 田中芳男とキクイモ 中山 繁雄
 『科塾行雑記』を読んで 熊谷 良一
 田中芳男の事始め 下平 勉
 田中芳男ウンダーカマー 長谷川善和
 日本の博物館の父田中芳男 桜井 弘人
 ジャンダル・デ・ブラント 村松 武
 田中芳男が見た140年前のバリ市
 街地とバリ万国博覧会 村松 武
 「かわらんべ」と内国勧業博覧会 今村 理則
 日本の動物園の始まりと田中芳男
 樋口 顕勇
 書籍館(公立図書館の前身)と田中

芳男 加藤みゆき
 資料 田中芳男略年譜



* 田中芳男(天保9[1838]-大正5[1916])
 は、信州樽木山支配千村平右衛門の飯田陣屋
 に生れ、名古屋の伊藤圭介に師事し西洋美術、
 蘭学、本草学を学び、開成所に勤務した、慶
 應3年(1867)にバリ万博に出張、帰国後は内
 務省の博覧会事業による殖産興業策に尽力
 し、上野の博物館、動物園、図書館の設立に
 関わるなど、植物学者、農政家として、わが
 国の近代化に大きな足跡を残し、影響を与え
 た。その田中の功績を顕彰して、戦前に東京
 上野の国立科学博物館に胸像が建てられた
 が、戦時下に金属供出され、今は、「男爵田
 中芳男像」と記銘された台座が残されるのみ
 である。地元飯田市においては、昭和55年に、
 市中央通りのりんご並木に顕彰碑を建立、平成
 11年には、飯田市美術博物館で、「日本博物
 館の父 田中芳男」特別展を開催するなどを
 してきたが、市民レベルでは、田中その人
 を知る人は少なく、評価も全体には行き渡っ
 ていないという。そうしたことから、平成18年
 に伊藤篤氏ら市民有志が、「田中芳男の胸像
 制作等を願う市民会議」を発足させ、募金活
 動を行って、胸像の復活を呼びかけてきた。
 この度、資金の目処が立ち、2体を製作し、
 1体は国立科学博物館に寄贈、もう1体は、

美術博物館の開館20周年を記念して設置される運びとなった。

伊那史学会も発起人に名を連ね、多くの会員が募金に協力した。「伊那」発行人の原田島村氏が、今回の運動で同会が文化的役割で貢献できることを嬉しく思うとした上で、田中の胸像も戦争犠牲者の一人であり、「戦争を知らない現代の人々へのメッセージとも言える」と述べているのが印象的である。

962 (56-7) 2008.7 A5 50p 500円
《伊研協2007シンポジウム報告》
口絵 伊那谷の竹の文化と民俗 橋都 正
伊那谷研究団体協議会2007シンポジウム報告 伊那谷らしさをさぐる 伊那谷学へのアプローチ
研究発表
弥生時代後期の伊那谷南部と東濃地方 市澤 英利
南アルプスのシカ食害の現状と課題 小林 正明
地名が語る伊那谷の歴史 地名は生きている 原 董
「ギフチョウ産卵調査」から何が見えるか? 松下 重雄
全体研究会記録

伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
0265-78-6719 年5000円
617 (52-6) 2008.6 A5 40p 500円
《自然と人間の関わり特集》
千畳敷カールに出現するサル 吉田 保晴
駒ヶ根市の竜西地区で見られる鳥類 方形区調査の結果より 松崎 善幸
辰野町赤羽土石流災害と地質 「平成十八年七月豪雨災害」被災地を訪ねて 有賀 泰司
美篁の二番井の昔と今 三峰川本

流と支流からの取水にかけた先人の苦勞 矢島 信之
神子柴簡易水道の開設
先人に感謝 原 旭一
上伊那の野外彫刻(51)
矢羽根の像 吉澤 正昭
文化短信 駒ヶ根高原探鳥会 吉田 保晴
上伊那で見られる日本古来の植物
(23) カントウタンポポ 小田切英雄
618 (52-7) 2008.7 A5 40p 500円
歴史の中の「地域認識」「領主的」地域認識と「農民的」地域認識
小木曾伸一
古代の諏訪と基層諏訪信仰の謎
(3) ミシャグジ神と柴宮銅鐸の一視点 田中 清文
赤い夕日の満州で汗と涙の百日間 興亜学生勤労報国際参加記録 唐木 勉
古文書の窓(84)
旧高遠藩主卒去報知状 伊藤 一夫
文化短信 いな少年少女合唱団 堀田 澄子
伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 0265-22-8118
3000円
73 2008.6 B5 8p
中絶・廃絶する民俗芸能の保存を三遠南信の霜月神楽の現況から 山崎 一司
三穂の民間信仰
先祖祀りと氏神様 折山 邦彦
和歌山県かつらぎ町三谷の「鎌八幡宮」 高橋 寛治
柳田国男の『信州随筆』研究(13)
犬坊の墓 中村 健一

信濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.com
701 (60-6) 2008.6 A5 88p 900円
《隣県特集号 隣県地方史学界の動向 平成19年(2007)》
富山県地方史研究の動向
久保尚文 / 高橋延定 / 太田久夫
山梨県地方史研究の動向
網倉邦生 / 西川広平 / 高橋修
新潟県地方史研究の動向
石原正敏 / 相沢央 / 前嶋敏 / 渡部浩二 / 田邊幹 / 池田哲夫
群馬県地方史研究の動向
松田猛 / 築瀬大輔 / 丑木幸男
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
埼玉県地方史研究の動向
石坂俊郎 / 新井浩文 / 実松幸男
長野県地方史研究の動向
桜井秀雄 / 福島正樹 / 前澤 健 / 田玉徳明 / 細井雄次郎
702 (60-7) 2008.7 A5 82p 900円
善光寺地震と善光寺役所の対応の軌跡 鬼頭 康之
柳沢式銅戈の提唱と青銅器文化流入経路の予察 松澤 芳宏
長野県における二ホンヅカの盛衰 小山 泰弘
安曇郡住吉荘郷村研究の総括 小穴 芳実
千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024 長野県上田市大手2-7-13 上小教育会館内 0268-24-2182 年3000円
136 2008.2 A5 74p
上田の町づくりを支えた太郎山の岩石 甲田 三男
近世後期上田領の秤改め 寺島よしえ

演習地化から軽井沢を守った人 田部井健次(石南) 金井喜平次
宿場の混乱 有君の通行について 大澤 廣
血ノ池弁財天の祭礼について(2) 附 濁川用水に於ける慣行の一例 小林 太郎
アソ(阿蘇)について 柳沢 賢次
研究ノート
寛文期上田の木綿事情 尾崎 行也
文化財講座 第50回 解体復元された小諸城大手門「国の重要文化財」 牧野 和人
古文書解読講座 第129回 寺島 隆史
137 2008.5 A5 77p
「郡」刻書土器と銅印の発見
西近津遺跡群の調査から 柳澤 亮
松本・塩尻地区の木曾義仲に関連する神社・仏閣を尋ねて 宮澤 芳己
蘇明将来符の呪符木簡と護符の一考察 倉澤 正幸
戸倉温泉・上山田温泉の温泉場成立過程 滝澤 公男
丸子町の誇るべき歴史
黒坂周平先生講述
日本人の精神文化を貫く社宮司信仰(4) 東筑摩郡四賀村(現松本市)の調査 白田 明
古文書解読講座 第130回 清水 岩夫
テラス 飯田市美術博物館ニュース
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
0265-22-8118 www.iida-museum.org
79 2008.5 A4 4p
開館20周年記念特別陳列 田中芳男館蔵品展 日本の博物館の父 田中芳男の資料 / 開館20周年記念事業 / 第6回藤本四八写真文

化賞 受賞作品展
館長コラム 大地のかけら 滝沢 具幸

長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
026-224-2673 年3000円
www.janis.or.jp/users/kyocobshi/
259 2008.6 A5 64p 500円
《特集 未来に繋がる絵解きの世界(2)》
西巖寺の「蓮如上人御絵伝」の絵
解き 小林 玲子
往生寺と絵解き 小林 一郎
全国各地で行われている絵解き 小林 玲子
浅陽地区の説話画 高原 英男
妻女山の真実 林 盛幸
慶応二年第二次長州征討の道中日
記 高野 清
西山地方の地名の一考察 西沢 智孝
千曲川通船と北国街道の宿場 青山 始義

長野県民俗の会通信
〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方
0263-50-9911 年5000円
www.k2.dcn.ne.jp/~folklore/
205 2008.5 B5 8p

古代山名呼称
『風土記』を資料として(2) 倉石 忠彦
庄内酒田の押絵雛 木下 守
206 2008.7 B5 8p
松本城下町出土の七夕人形につ
いて 木下 守
松代祝神社の絵馬と山梨岡神社の
神 細井雄次郎
平成20年度夏季調査のご案内 事務局

ネットワーク長野県史料協
長野県史料保存活用連絡協議会会報
〒387-0007長野県千曲市屋代字清水260-6

長野県立歴史館 文献史料課
026-274-3993
8 2008.3 A4 6p
平成19年度第2回文献史料保存活
用講習会講演概要 公文書館制
度をめぐる最近の情勢について
梅原康嗣氏 / 飯田市歴史研究所
の行政文書保存活動 旧南信濃
村役場文書の場合 鬼塚博氏
旧営林署文書の行方 松本市文書館 小松 芳郎
文書保存の一事例について 長和町教育委員会 勝見 譲
公文書整理道半ば 飯縄町教育委員会 窪田哲男氏
平成19年度総会第1・2回文献史料
活用講習会報告

郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 岐阜
県図書館内 058-275-5111 年2800円
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
109 2008.6 B5 28p

大垣の名物「蛤」 清水 進
希庵玄密の生涯(再稿) 横山 住雄
多治見・喜多町東遺跡出土の「土
師器皿」とその歴史的な背景 山内 伸浩
所郁太郎と残された妻子の生涯 加藤 彰子
書窓の風 東濃 生産者別表示記号のある
「全国の戦時中のやきもの」
展について 桃井 勝
可茂 『泳宮考』の草稿本 中島 勝国
郷土関係新刊書目録(95)
郷土関係逐次刊行物文献目録(94)

美濃民俗 美濃民俗文化の会
〒503-2227岐阜県大垣市青野町1180-1

大垣歴史民俗資料館内 0584-91-5447
年1000円
493 2008.6 B5 4p 250円
春のくろもじ 編集部
水の精 福永 円澄
涙の民俗 福永 円澄
殿様のくらし(62) 十万石大垣藩
主 戸田氏共の勤王 清水 進
随想 科学情報技術社会は万能か
先史人と大自然の恩恵と恵み
に生きて 高橋 智静
ことばの民俗 編集部
494 2008.7 B5 6p 250円
くらしの民俗 福永 円澄
殿様のくらし(63) 十万石大垣藩
主 若殿氏正の正月(1) 清水 進
国鉄「大垣駅」誕生ウラ話し
(私見) 堤 正樹
特別寄稿 杉原千畝の波紋 大内 勲
不思議な光の物語 林 佐多哲
西美濃地名考(1) 村上 圭二

月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
0538-32-3546
www4.tokai.or.jp/dild-cj/
12 2008.5 A4 4p
犬居のつなん曳き 吉川 祐子
13 2008.6 A4 6p
倉開流茶手揉み技術のお話 吉川 祐子

古城 静岡古城研究会
〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3
平井登方 054-639-0648
53 2008.5 B5 78p
朝倉氏(安倍郡柿島)の城館につ
いて 水野 茂

戦国大名今川氏の城 大塚 勲
韮山城における「障子堀」遺構に
ついて 望月 保宏
新に確認された城館跡 北遠奥山
氏 幻の「小川城」 乗松 稔
城郭研究はいかに 学知 たるか 川村 晃弘
城館レポート('07年) 編集部

静岡県近代史研究会会報
〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大
学情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
357 2008.6 B5 4p 200円
6月例会にあたって 海野普吉を
振り返るということ 小池 善之
海野普吉没後40年 海野普吉と護憲運動 桜井 規順
358 2008.7 B5 6p 200円
7月例会レジュメ 戦後における
郊外住宅地の形成とニュータウ
ン開発 多摩ニュータウンを事
例に 金子 淳
7月例会レジュメ 志太郡関係日
露戦争死没者について 岡部町
常昌院木像の理解に寄せて 村瀬 隆彦
新刊紹介 川口和正編著『道遠く
とも 弁護士相磯まつ江 法律
を、弱者のために使おう』 成瀬 公策
海野普吉没後40年・補遺 三人の女性による「追想」 市原 正恵
海野普吉を知るために
参考文献紹介 橋本 誠一
6月例会と7月6日の集会につ
いて / 紹介 ひろたまさき氏の最
近の研究

静岡県民俗学会会報
〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
外立ますみ方 www4.tokai.or.jp/s-folklore/

126 2008.5 A4 6p
 平成20年度総会・大会終わる 総
 会報告・大会報告 / 第4・5回大
 内民俗調査のお知らせ
 シリーズ食(6) 手の瘤 / 辻に納
 める食物 / お握りとゆで卵 吉川 祐子
 博物館情報
 127 2008.7 A4 4p
 大内調査報告
 大内浅間神社 祇園祭 多々良典秀
 食の民俗 静岡県
 「オハタキ」考(1) 富山 昭
 シリーズ食(7)
 昆虫食 キムシのこと 大嶋 善孝
 静岡の民俗語彙・方言短信 / 博物
 館情報
 静岡歴史研会報 静岡県歴史研究会
 〒421-0301静岡県榛原郡吉田町住吉2767-3
 鈴木康弘方 0548-32-0231
 122 2008.6 B5 8p
 平成20年度総会
 第80回研究会 大川、堀川両氏発
 表 大川誠一氏「歴史とは」の
 概要 / 堀川幸美氏「庚申さまに
 ついて」の概要
 戦時下の思い出 千人針 川勝 高士
 豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部
 〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
 414 2008.6 B5 4p
 敗戦直前・米軍上陸に備え島民た
 ちは強制集団疎開 伊豆諸島の
 島民たち故郷を離れ伊東・下田
 両港に上陸後、疎開地へ
 415 2008.6 B5 4p
 静岡県でさいしょの水道完成
 全国で横浜市に次いで二番目

189(明治23)年、賀茂郡稲取村
 木管1440メートルを通じ水道施
 設できる
 416 2008.7 B5 4p
 伊東上水道の歴史(2)
 1913(大正2)年、賀茂郡下の伝染
 病院等設置状況一覧表
 417 2008.7 B5 4p
 1913(大正2)年からの苗字の移り
 かわり 大差ないが時代を徐々
 に反映
 1913(大正2)年、賀茂郡下の伝染
 病院等設置状況一覧表
 418 2008.8 B5 4p
 1945(昭和20)年8月6日朝 原爆投
 下を伝える静岡新聞の記事 軍
 の厳しい言論統制も抑えられず
 新型爆弾の残虐性に怒り爆発
 当時の伊豆海軍特別攻撃隊基地
 419 2008.8 B5 4p
 1945(昭和20)年8月10日の新聞記
 事 6日に広島市投下の新型爆
 弾に勝つ途 防空総本部が対策
 を発表する 頑丈な防空壕を屋
 外に造れ
 日中戦争(1937年開戦)帰還兵に与
 えられた告知書
 六所家総合調査だより 富士市立博物館
 〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
 0545-21-3380
 3 2008.6 A5 20p
 特集1 平成19年度特別調査概報
 「釈迦三尊十六善神図」「紅玻璃色
 阿弥陀如来・不動明王・愛染明
 王坐像」「大黒天立像」 高橋 平明
 史料紹介
 六所家旧蔵 小堀遠州書状写 坂本 亮太

絵図にみる東泉院境内堂舎の変遷
 杉山 一弥
 安城民俗 安城民俗談話会
 〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4
 川合正治方 0566-76-6638
 30 2008.5 B5 16p
 安城民俗 30発行によせて 川合 正治
 願うということ 斎藤 卓志
 熟女4人遍路旅 松元美紀子
 百観音巡礼 阿部 健
 消えた小学生の年中行事 榊原 信寛
 今、考えること 近藤由美子
 民俗への想いと見聞雑考 加藤 研一
 食文化探訪で会った人たちの思い
 出(1) ある夜 十津川からの
 電話が 河村 和男
 ナイショ酒(小川町の聞き取りか
 ら) 近藤由美子
 安城・西尾の方言 川合 正治
 談話会活動記録
 郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
 〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
 字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
 0569-65-2880
 85 2008.5 A5 80p 500円
 近世物流の担い手・千石船(弁才
 船)の活躍と衰退 尾州廻船・
 内海船を中心にして 丸山 専治
 秘境知多半島を探検して人々 村田 修
 「おたちきさん」について
 豊浜・中村区民の守り神様 石黒 武司
 『みなみ』邂逅記 加藤喜代吉
 日間賀島の民俗(婚姻、若い衆、
 絞り加工(4) 日間賀島の「婚
 姻慣行」 榊原 剛
 明治の大教育者「溝口幹日記抄」

近代文明黎明期と鈴漢義塾
 (4) 斎田 茂夫
 愛知県における明治期の地方誌教
 科書(4) 明治20年代の県地誌
 の内容を中心に 永田 文夫
 復刻その2 内海小学校所蔵「内
 海古事類聚」乙号より 帆走船
 東海丸第二航海ニマリアナ群島
 二寄港セシメテ同群島ノコト
 ラ記ス 船長 日比平七 河合 克己
 山頭火南知多の旅の疑問(前) 大岩 隆
 知多半島南部の伝統漁法(2)
 明治12年漁具絵図下調より 磯部 宅成
 東海近代史研究 東海近代史研究会
 〒482-0044愛知県倉倉市宮前町2-75
 西形久司方 0587-66-7569
 29 2008.6 B5 76p
 地域社会に生きた大正デモクラッ
 ト小林橋川 言論活動と社会的
 行動の軌跡 成瀬 公策
 可視化される南洋群島 高木 茂樹
 『承継』にみる愛知の戦争資料運
 動 西形 久司
 歴史の小径
 西郷隆盛「遣韓論」を晒う 田村 貞雄
 文化誌 碧 碧の会
 〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-
 53 河村方 0566-76-0204
 22 2008.6 B5 50p 500円(抄)
 新型インフルエンザウィルス
 (H5N1)パンデミック(大流行)
 の脅威に我が国の対応の甘さと
 医療費抑制先行の影 相良蒼生夫
 二つのがん体験 米川 五郎
 ひばり 久世 郁子
 カレー粉について 粕淵 宏昭

盛田K.K.とシキシマ製パンなど 中城 積
トルコ食紀行 嶋野 卓
囲炉裏と焼き物と 在りし日の郷
里の秋を偲んで 八重田和久
忘れ得ぬ「話者」たち
食文化探訪での思い出(1) 河村 和男
まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
0567-37-0441 年5000円
535(48-3)2008.5 B5 12p 600円
日置八幡宮所蔵木造獅子頭考 石田 泰弘
辻の獅子舞を訪ねる 石川 博司
熱田神宮の歩射神事 野村 辰美
愛知県西部のおコワ祭(1)
愛西市勝幡のおこわまつり 三輪 京子
536(48-4)2008.7 B5 8p 600円
愛知県西部のおコワ祭(2) 海部
郡七宝町下之森のおこわ祭 三輪 京子
祇園祭、七月十日の行事 神輿洗
と松明巡行を中心に 米田 幸寿
東海民俗研究発表会要旨 伊勢の
代神楽 太神楽の巡業を追って
鈴木 武司
史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
0596-22-6462
215 2008.6 B5 8p 200円
『古語拾遺』所遺六、斎部氏差降
記事をめぐって 岡田 登

近 畿

湖国と文化 滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
077-522-8369 年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
124 2008.7 B5 96p 630円

特集 山の花ファンタジー
檀上俊雄/草川啓三
紫式部と湖国 瀬戸内寂庵
滋賀会館 私のモニュメント 中村 鋭一
興味津津 私の近江 MOTOKO
あの町この町(21) 大津 今関 信子
湖国レディス・アイ(16) 田野 優美
湖国 人・物・風景(14) 苗村 和正
ふるさと四季の味(20) 小川 久子
記者つれづれ日誌(4) 鶴飼 修三
ごきげんさん(25)
藤井路夫さん 辻村 琴美
北から南から
奥田安都佐/北村五十鈴/今井信
/袖森茂/江竜喜信/西川清子
再発見!滋賀の文学(3) 井上 次雄
大谷昭宏のハートツート(18)
近江渡来人倶楽部 大谷昭宏/田村元
水源の森を訪ねて(23) 檀上 俊雄
伝承に見る淡海(22) 黄地百合子
やんちゃ坊主伝(3) 高橋 勉
滋賀の伝説と民話「野路の玉川」
渡邊守順/斉藤裕子
編集長対談 湖に生きる(29)
BBC記者 坂田しのぶさん
根津眞澄/馬場和実
続・ふるさと歴史散歩「三成の里」
長浜市石田町 早藤 貞二
近江の海 おーい老いと呼んでみ
る(13) 熊谷栄三郎
彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
0749-22-6100
www.city.hikone.shiga.jp/museum/
81 2008.6 A4 4p
平成20年(2008年)6月、井伊直弼
と開国150年祭開幕。彦根城博

物館では、特集コーナー「直弼
のこころ」・シリーズ「直弼発
見!」が始まります。
金亀玉鶴 井伊直弼の国学研究 渡辺 恒一
直弼のこころ 井伊直弼ゆかりの
作品(1) 茶湯をりをり草 井
伊直弼作
はくぶつかん相談室/はくぶつか
んへ行こうスペシャル
民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
0740-36-1414 年4800円
537 2008.6 B5 12p 420円
日本人の神観念と治政 自然・祖
霊信仰に合わない民主主義下の
神社行事 菅沼晃次郎
白と樟の民俗学 北野 晃
月と民(7) 月と天気俚諺 吉岡 郁夫
建部家より到来の家蔵文書と建部
伝内賢文(3) 中村 武三
北近江草野川谷の伝承(6)
天吉寺山と三川の玉泉寺 馬場杉右衛門
蟬(せみ)採り網について
米原市高溝 粕淵 宏昭
明治の教科書に記された塩と砂糖
の話 将軍が努力した塩(徳川
家康)と砂糖(徳川吉宗) 大村 進
島の生活(56) 姫路市家島町 奥山 芳夫
538 2008.7 B5 12p 420円
樟の株の涙(1) 北野 晃
月と民(8) 月の魔力 吉岡 郁夫
建部家より到来の家蔵文書と建部
伝内賢文(4) 中村 武三
近江伊吹山系の伝承(1) 記紀神
話の舞台と近江の地名 馬場杉右衛門
落ち葉掻きについて 米原市高溝
粕淵 宏昭

チョコレートについて 粕淵 宏昭
島の生活(57) 姫路市家島町 奥山 芳夫
多神教の長所・短所を思う 馬場杉右衛門
あたごさん 京都愛宕研究会会報
〒621-0847京都府亀岡市南つつじヶ丘桜台
1-5-19 鶴飼均方 年2000円
4 2008.6 A4 16p
《研究会発足五年目突入記念号》
愛宕研究会発足と活動のあゆみ
会員だより大特集
貴重な文化遺産を守れるのも愛宕
山さんあたごさん 赤井又三郎
愛宕山頂にエゾノコリンゴ 上島 裕
「かまど」前の祈符「火要要鎮」 上原 敏夫
愛宕山の思い出 片岡 博
愛宕山ケーブル夢想 北野與志朗
愛宕神社で“雪降り”初体験記
最近の山ゆき 嶋林 宏二
愛宕研究会に入ったきっかけ 竹口 信和
愛宕さんと愛宕研と私 西野 伸
(無題) 早坂 芳子
偶然の出会い 福本 宗一
癒しようしろめたさ 矢原 章
灯籠いろいろ 吉田 昭三
車窓からの愛宕山 和田 安司
ひとことエッセイ
相楽貞喜/青木恒之/赤井又三郎/
榎田弘一/小谷柳太/佐竹修/谷尾
啓造/玉城玲子/早坂芳子/方城庸
行/村上節子/矢原章/山口満/山
中毅/山本政次/吉田昭三
水尾清和天皇社に市域編入記念献
燈並に嵐峡新驛設置の記 青山 哲夫
民間信仰と愛宕の神
信仰様態の一考察 岡 冬樹
京都愛宕研究会 平成19年度活動
報告

街中で描かれている愛宕さん 中川 未子

宇治市歴史資料館年報
〒611-0023京都府宇治市折居台1-1
0774-39-9260
2005 2007 3 B5 34p

2005年秋、特別展を通して考えた
こと 市民・学校・市職員 坂本 博司
2006 2008 3 B5 39p

宇治市歴史資料館 20年の記録
事業編 小嶋 正亮

黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿
〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34
0774-33-1199
127 2008 7 B5 374p

故郷の山へ、帰ろうかな 黄檗ゆ
かりの地(3) 福清黄檗山 林 観潮
黄檗山万福寺という「場所」の歴
史的展開過程についての一理解
山本 輝雄

黄檗山万福寺における建築的景観
及びその維持に関する覚え書き
浅井 健一

費隠禅師のキリスト教批判
『原道闢邪説』 岡本 さえ

近代仏教と黄檗の役割 マルティン・レップ
撰津国島上郡の黄檗廃寺について
石渡 吉彦

日野市百草山における二つの廃寺
慈岳山松連寺と榎井山松連寺
西村 勉

研究資料 『江戸黄檗禅刹記』校
刊と解題(4) 江戸黄檗研究会
『隠元和尚廣録』について 大槻 幹郎
鎮堂元傑禅師をめぐる推論 木村 得玄
宗統復古に身命を捧げた加賀大乗
寺二十七世元山道白禅師の偉

業・その背景は黄檗禅の影響が
多大であった 虎井 吉雄

初期日本黄檗における儀礼と儀規
禅浄双修 高井 恭子

伊勢天華寺の石碑と大般若経 藤井 直正

日本の輪蔵についての覚書 野崎 準

国内の著作にみる川口慧海(8) 高山 龍三

慈海を世界の河口にしたふたりの
女性 高山 龍三

梵唄から隠元へ(3) 澤村 洋二

台北善導寺 過去と今 野川 博之

黄檗山万福寺所蔵「十六羅漢図」
の構成に関する一考察 伝託磨
長賀筆「十八羅漢図」の検討を
兼ねて 藤元 裕二

ブラジル日系人の文化の変遷
田中実マルコス

高泉禅師年譜について 田中 智誠

古代史の海 「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
中村修方 FAX075-392-3743 年4000円
www.geocities.jp/kodaishinomi.2005/
52 2008 6 A5 124p 1500円

巻頭言 戦後古代史学のパラダイ
ムの欠陥を問う 半沢 英一

隅田八幡鏡銘文についての補論と
関連諸論 銘文解釈と古代氏族
の見方について 宝賀 寿男

畿内における前期古墳の粘土槨の
葬送儀礼とその出現 宮本 繁雄

上代特殊仮名の根本的解明(7) 坂田 隆
会員ひろば アンデス通信(5) 市木 尚利

古代史と数値(続)「一寸千里説」
と「海鳥算経」の数値を中心に
下司 和男

惣田奥12号墳の現状 附 鱈4号
墳・磯ヶ部古墳・佐太郎塚古墳

重村 英雄

古代ギリシャの科学
ベルシヤ戦争の前 河野 宏文

計量史からみた文明の系譜 岩田 重雄

銅鐸と銅矛に発見される相対性 大谷 幸市

『日本書紀』原史料と編纂方法の
復元(2) 金森 信和

史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円
785(78-5)2008 6 A5 40p 960円

鬼瓦百選(64) 小林 章男

板碑の分類について 片岡 晋祐

宮城県の板碑布教 石黒伸一郎

樟の立木仏 北野 晃

第922回例会 多田神社と猪名川
町の文化財を訪ねる 松永 修輔

第923回例会 比叡山横川膝下の
仰木の里を訪ねて 丸山 貞

故 角田文衛先生を偲んで 中西 亨

786(78-6)2008 7 A5 40p 960円

鬼瓦百選(65) 小林 章男

松島五大堂の梵鐘 石黒伸一郎

鱧口の銘文(1) 愛甲 昇寛

大佛開眼以前(上) 那富山墓、金
剛山房、福寿寺 田寺 英治

第924回例会 奈良盆地西北の文
化財を訪ねて 東 〇

史談福智山 福知山史談会
〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 0773-22-7546
670 2008.1 B5 4p

福知山地方の民間信仰 事八日 嵐 光激

コラム 南九州(鹿児島県)火山灰
層訪問 塩見 昭吾

671 2008 2 B5 6p

平成20年度福知山史談会総会報告
記念講演「明智光秀の真実 明智
光秀の丹波攻略と地域権力を中
心にして」大山崎歴史資料館
学芸員 福島克彦先生

672 2008 3 B5 4p

福知山近辺の鉄道について 嵐 光激

673 2008 4 B5 4p

平成20年度春の例会 福知山城周
辺 もっと知ろう明智光秀 大槻 伸

674 2008 5 B5 6p

本能寺の変後の明智光秀について
嵐 光激

675 2008 6 B5 6p

杉原家次及び前田玄以のこと 嵐 光激

都藝泥布 京都地名研究会通信
〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-
46 綱本逸雄方 075-933-5667
年3000円 chimeit.hp.infoseek.co.jp
25 2008 6 A4 8p

第7回京都地名シンポジウム報告
地名随想「俳枕」
地名と俳句の結婚(前) 尾崎聖二郎

第22回京都地名フォーラムご案内
新刊紹介 池田末則編『奈良の地
名由来辞典』、加納重文著『平
安文学の環境 後宮・俗信・地
理』

ノートル・クリティーク 歴史と批評
ノートル・クリティーク編集委員会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部 小林啓治研究室
1 2008 5 A5 86p 1000円

創刊によせて 小林 啓治

沖繩知識人の思想変遷について

仲宗根源和を例に 櫻澤 誠
 問テクスト的福沢諭吉批判 思想
 史の方法学の構築にむけて 小野寺真人
 二つの精神、吉野作造と大杉榮 田中 希生
 「野球史」研究の現状と可能性 白川 哲夫

やましろ 城南郷土史研究会
 〒619-0204京都府木津川市山城町上粕南野
 田芝29 中津川方 0774-86-3262
 22 2008.5 B5 142p 1200円

高麗寺の発見と調査(上) 中津川敬朗
 木津川のうた 小西 亘
 「上粕惣墓」墓標考 小林 凱之
 宇治屋と藪の渡し 古瀬 誠三
 鹿背山通信(3) 鹿背山通信(3) 田辺 英夫
 みもろつく鹿背山 田辺 英夫
 子どもたちの地域史(5) 田山花おどり 西城 慧一
 田虫送り 小西 貴文

南山城文学誌のあわせ(2) 古川 章
 継体の宮の址 古川 章
 十五年戦争期の奈良県下における
 銃後の一断面 戦没者と傷痕軍
 人について 仁張 真人

祝園部隊から沿岸要塞への弾薬補
 給 昭和17年 柴田 保彦
 学校文集「いづみ」戦前の歩み 橋 尚彦
 浅田家文書雑感 浅田 周宏

「乙訓の文化遺産を守る会」との
 交流会報告 小林 凱之
 追悼 門脇禎二先生から学んだ地域か
 らの視座 中津川敬朗
 追悼 門脇禎二さん 田中淳一郎
 門脇先生が亡くなられました 東 義久
 高橋美久二氏を偲んで 福富 城介
 追悼 高橋美久二さん 田中淳一郎

戦時・戦後期に於ける南山城青年

エリートの思想と行動の軌跡
 (下) 資料・陸士生徒日記、立
 命館大学上粕班日記を通して 赤塚 康雄
 南山城地域の仏像 参考文献集成
 十世紀篇 八田 達男

洛北史学 洛北史学会
 〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
 京都府立大学文学部歴史学科内
 075-703-5256
 10 2008.6 B5 124p

魂を脅かす平和 ビザンツの政教
 信仰とリヨン教会合同 橋川 裕之
 ザクセン公ゲオルグの領邦統治と
 顧問官 西川 裕章

英国のキリスト教社会主義運動に
 おける芸術の位置 ダンディズ
 ムから福祉国家へ 井上 治
 曾紀澤の出使日記について 青山 治世
 書評 関口力著『損関時代文化史研究』 豊田 早苗
 鈴木智夫著『近代中国と西洋国
 際社会』 箱田 恵子
 岡本隆司著『馬建忠の中国近代』 小野 泰教

新刊紹介
 中村生雄・三浦佑之・赤坂憲雄
 編『狩猟と供犠の文化誌』 今久保通聰
 酒井哲哉著『近代日本の国際秩
 序論』 岡本 真奈
 追悼 門脇禎二先生と私 渡辺信一郎
 大会報告要旨

泉佐野の歴史と今を知る会会報
 〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
 井田寿邦方 0724-28-0204 年1200円
 246 2008.6 B5 10p

講座「大坂夏の陣櫻井合戦」を聞
 いてわかったこと(3) 櫻井合
 戦の規模 樋野 修司
 日根野氏系図を考える(4) 井田 寿邦
 247 2008.7 B5 14p

聞書・岸和田の漁師 中崎才吉/北山理
 日根野氏系図を考える(5) 井田 寿邦
 移行期の群像(62) 寺僧の人々(23) 井田 寿邦
 07年度を振り返る 事務局

大阪歴史懇談会会報
 〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
 FAX0724-38-4487 年5000円
 www.homepage2.nifty.com/redikan/
 286 (25-6) 2008.6 B5 12p

大東亜戦争 語り継ぐ(16)最終回 榎野 敏男
 5月例会報告(第261回)「ある天
 体の地球襲撃! 100周年、僅
 差で日本列島は無事だった」/
 古文書講座 第111回「引越証
 文之事」
 見学会報告 東寺・西本願寺界隈を歩く 山崎 保雄
 追想録 大阪財界の巨頭 杉道助
 先生を語る 小林 司
 JR大阪駅のこと 松本 正彦

大東亜戦争の記録 釜石艦砲射撃に思う 松坂 定徳
 287 (25-7) 2008.7 B5 8p

七月はシーザーの月 上田 雄
 6月例会報告(第262回)
 「継体天皇、ヤマトを救う」 中澤 祐一
 古代史講座 第154回「クニ社会
 体制 国家社会体制」 松本 正彦

見学会報告 大和川北岸コースを歩く 吉川 三郎

かいづか文化財だより テンプス
 貝塚市教育委員会
 〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
 072-433-7126
 34 2008.7 A4 8p

貝塚市歴史展示館 常設展示リュ
 ーアル
 大日本紡績株式会社 貝塚工場の
 建築的特徴
 古文書講座 江戸時代の水争い
 人びとの暮らしを通して/次回
 (第28回)古文書講座開催のお知
 らせ
 古絵図をひも解く 近木川と件井
 貝塚御坊願泉寺の平成大修理

家系研究協議会会報
 〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
 島野穰方 072-634-5909 年5000円
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 25 2008.7 B5 8p

家系図は異なるもの魅力なもの 中村 啓一
 家系研究協議会 平成20年度第7
 回総会と例会報告
 馬姓について 三國 郁自
 珍名さんいらっしゃい(22) 眞野 幹也
 家研協たより/図書出版案内

河童通心 和田寛
 〒591-8021大阪府堺市北区新金岡町5-4-
 327 072-251-2586 年2400円
 296 2008.6 A5 18p

河童の文化史 昭和後期(2) 和田 寛
 「河童文庫」増加図書目録(二冊目
 の本を含む)
 297 2008.7 A5 14p

河童の文化史 昭和後期(3) 和田 寛

河内どんこう やお文化協会
〒581-0003大阪府八尾市本町5-1-1
ローレル八尾本町302 072-924-3363
85 2008.6 B5 132p 1200円
八尾市指定文化財環山楼の管理受
託とその運営について 西野 民夫
八尾と河内音頭 八尾河内音頭ま
つりの発展を願って 棚橋 利光
《特集 高安山麓の歴史と文化》
高安山讃歌 大槻 洋子
高安山とその周辺、歴史と人物 坂上ひろこ
高安の後期群集墳を歩く 松江 信一
河内を駆け抜けた人々「物部守屋」
物部氏の系譜と愛宕塚古墳 米田 敏幸
在原業平と光堂千手寺 木下 密運
報告「なりひらの恋 高安の女」
の企画から公演までの軌跡 井上 佳子
「なりひらの恋 高安の女」写真
記録 藤善ちひろ
八尾市内の燈籠
私のいとしい「八尾地藏」市制
施行60周年記念公演を前にして
志賀山勢州
句碑めぐり 波多野惇子
短歌随想(18) 松岡 裕子
伝えたい風景「八尾の景観」
伝統民家が残る風景 平谷 宗隆
ようこそのお運びで...「ちりと
てちん」の収録セットを見に行
って 中西 隆子
私の歴史散歩
「真田幸村休憩所跡」随想 吉川 昌英
歯ブラシ植毛機の今昔記 内田 常夫
東大阪の大空襲 旧布施市域 荻田 昭次
戦争遺跡を訪ねて(7) 大正飛行
場の戦闘指揮所(飛行第246戦
隊) 大西 進
河内を描く 私と仏様 高野 剛

八尾の橋(4)
山畑川橋 やはたかわはし? ちゃお
淀川を懐う 今中 宏永
新・古美術 柴壺青花堂日乗(2) 尾山 宗海
青木薫の続おいしい八尾(2)
野菜料理 有丸
「井上千代子自刃事件」を考える 西田 光男
中国の昔話(5) 猿のお尻はなぜ
赤いのでしょうか? 加村 重累
松原の史蹟と伝説(23)
向井村と布忍神社 出水 睦己
昔の話から八尾を知る(10) 堀井 建市
八尾の灯籠の探訪を終えて 荒木 正雄
近畿文化 近畿文化会
〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9
日本生命上本町ビル5階
06-4304-7433 年2200円
703 2008.6 A4 12p 300円
仏像の起源と古代葛城(上) 松浦 正昭
東吉野の史跡と青蓮寺 来村多加史
近鉄の近代建築(5)
上六ホテル(現、百楽本店) 川島 智生
704 2008.7 A4 12p 300円
淀川水運と山城・撰津の古式古墳
水野 正好
京都・西陣の古寺と仏像 関根 俊一
仏像の起源と古代葛城(下) 松浦 正昭
左海民俗 堺民俗会
〒593-8302堺市西区北条町2-10-18
生駒道弘方 072-277-6331 年3000円
127 2008.6 B5 10p
小商売のいろいろ(1) 川村 淳二
《戦中・戦後の食糧難》
撫子の花柄 堀家 重子
電機パンと馬糞パン、そしてシソ
ウ糖 川村 淳二

「ミリヨウシゲン」 岸 繁司
ひもじかったあの頃の記憶 川埜喜美江
美味しかった茶殻 岸 繁司
恩賜のビスケット 岸 繁司
子供の遊び追録 生駒 道弘
カンチョ・カンチョ 堀家 重子
短歌 当尾の里
例会報告&一言メモ
ヒストリア 大阪歴史学会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部 西本昌弘気付
www.soc.nii.ac.jp/history/
210 2008.6 A5 150p 1000円
鎌倉期矢野荘公文職考 権利の文
書化という視点から 小川 弘和
道鏡の大臣禪師・太政大臣禪師・
法王 谷本 啓
九世紀の日本と渤海
年制期の成立とその影響 浜田久美子
紀伊国造の系譜とその諸本 鈴木 正信
「秋長」書状の年代比定をめぐっ
て 関ヶ原合戦と蜂須賀家政 三宅 正浩
わたしたちの文化財 重要文化財
願泉寺 大阪府貝塚市所在 前川 浩一
新刊紹介 のびしょうじ著『被差
別民たちの大阪 近世前期編』村上 紀夫
2008年度大会報告要旨
考古・部会報告 北山 峰生
古代・部会報告 岩田真由子
古代・個人報告 廣瀬 憲雄
中世・部会報告 樋口健太郎/石本倫子
中世・個人報告 亀田 俊和
近世・部会報告 岡島永昌/海原亮
近代・部会報告 人見佐知子/船勢肇
報告
五社神古墳(現・神功皇后陵)の
立ち入り見学 大阪歴史学会企画委員会

大阪府の博物館の存続をめざし
て 大阪歴史学会委員会
会報むろのつ「嶋屋」友の会
〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内 079-324-0595
年3000円 www.muro-shinaya.jp
15 2008.6 B5 40p
誌上インタビュー
『風土記』の語ること 上田 正昭
《特集 風土記の世界》
風土記に見る地名の面白さ 谷川 健一
いまに生きる『播磨国風土記』 橘川 真一
室の津から風土記をみる 寺本 躬久
風土記を歩く・姫山の女神 埴岡 真弓
神功皇后の海 柏山 泰訓
水で繋がれた歴史の中で 岩井 忠彦
町並み探訪(15) 引田 八木 雅夫
十冊の本を読む(5)
『日本の原発地帯』鎌田慧著 安井 道夫
広告世相視
博物館遊歩(15) 九州国立博物館
柏山 泰訓
神戸史談 神戸史談会
〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
佐藤方 078-793-5348 年3000円
302 2008.7 A5 74p
日本人の原郷・熊野を歩いて
平成20年度新年例会講演 伊勢田史郎
追憶の遺産 神戸・深江文化村に
ついて 平成20年度3月例会卓
話 辻 正彦
北野町異人館と諸宗教施設(平成
20年度5月18日例会探訪) 国際
都市神戸の一つの側面 武田 則明
海人・ヒコホホデミについての考
察 九州からの東遷はない どうかずこ

文学のふるさと「平野」 前田 章賀
 大伴家持の生涯と歌に現れた「標」
 について 服部 晃
 平家物語巻第十藤戸をめぐって
 源平藤戸合戦、謡曲藤戸、京都
 と醍醐寺藤戸石 重成 裕
 嶋屋友の会だより
 〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
 たつの市立室津海駅館内 079-324-0595
 年3000円 www.muro-shimaya.jp
 34 2008.6 A4 4p
 現地見学会 但馬の妙見さん・名
 草神社を往く／企画展 室津郵
 便局のあゆみ／考古博物館見学
 会／「納豆汁」を食す
 室津よもやま話(2) 唐荷鼠(2) 柏山 泰訓
 カタカナ語あれこれ 柏山 泰訓
 かえりみち 室津会所文書 足立 尚
 史料ネット NEWS LETTER
 歴史資料ネットワーク
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
 神戸大学文学部地域連携センター気付
 078-803-5565 年1000円
 www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/
 53 2008.5 A4 12p
 巻頭言 震災記憶の風化と歴史資
 料ネットワークの責務 板垣 貴志
 特集1 第3回地域史卒論報告会
 趣旨と概要
 報告者の感想 花尻千秋／梶岡一路
 ／井上誉／中村昌民
 特集2 人と防災未来センターリ
 ニューアル展示見学会・シンポ
 ジウム「大規模震災と歴史資料」
 概要／感想アンケートまとめ
 54 2008.6 A4 8p

巻頭言 ネット企画の充実と岩
 手・宮城内陸地震での保全活動
 支援 奥村 弘
 特集 2008年度総会・講演会開催
 される
 草の根史料館の編んだ地域史
 『本庄村史』編纂を終えて
 緊急特集
 岩手・宮城内陸地震発生!!!
 宮城資料ネット・ニュース 第53
 号・第54号
 西神ニュータウン研究会会報
 〒651-2103神戸市西区学園西町1-1-1
 UNITY 神戸研究学園都市大学交流センタ
 - 078-794-4970 年1000円
 Seishin-nt.mok2.net
 64 2008.7 A4 2p
 第64回例会開催／西神ニュータウ
 ン研究会 第64回例会記録
 摂播歴史研究 摂播歴史研究会
 〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-
 12 079-442-0658
 46 2008.7 B5 4p
 直猶心流剣道形について(続) 青野 克彦
 カーナビの楽しみ 谷山 由夫
 47 2008.11 B5 6p
 大国隆正自筆日記『たひころも』
 について 神崎 壽福
 西宮文化協会会報
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
 西宮神社内 0798-33-0321
 483 2008.6 B5 8p
 エザキ通信(1) 米の国際相場、
 一年で二倍、小麦、石炭は三倍
 江寄健一郎

エビスあれこれ(5) 山下 忠男
 伊勢参宮本街道を歩く(26) 吉井 貞俊
 図書紹介 花の民俗 原泰根著
 484 2008.7 B5 8p
 ちょっと昔の話(8) 楠井 都志
 武庫川を遡って 吉井 貞俊
 紫香楽宮跡より万葉歌の木簡が出
 る
 伊勢参宮本街道を歩く(27) 吉井 貞俊
 図書紹介
 神やどる大和 栗田勇著
 歴史と神戸 神戸史学会
 〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田
 中印刷出版内 078-871-0555 年3000円
 268(47-3)2008.6 A5 48p 600円
 《特集 古代・中世の播磨史》
 兵庫の戦後モダニズム建築(2)
 甲南女子大学校舎 笠原 一人
 「住吉大社神代記」の播磨国賀茂
 郡関連記事について 垣内 章
 浄土寺建立の頃の重源上人と草部
 姓鋳物師 神生 昭夫
 地域史研究の新しい風
 「いひほ学研究会」の設立 岸本 道昭
 上野村年貢免定 岸添 和義
 地名研究(92) 西宮の地名探索
 小松 ヒビ退治と隼人伝承 洪谷 武弘
 私のこの一冊 太平洋ひとりぼっ
 ち／コスモスの甦る日まで 辻川 敦
 あかい奈良 グループ丹
 〒630-8144奈良市東九条町6-4 0742-62
 -3408 年2500円 www.akai-nara.net
 40 2008.6 A4 46p 500円
 特集 奈良の塔
 知っているつもりの知らない話
 大和彩食館 大和の野菜に魅せら

れて(4) 夏・野川イモ 三浦 雅之
 心の風景 水 井上博道／西村博美
 あかい奈良インタビュー
 画家 絹谷幸二氏
 特集 塔跡を歩く
 奈良の伝統行事(33) 一日だけの
 オダイシサン 大和郡山市番条
 町のミニ四国霊場 鹿谷 勲
 あかい奈良が行く古寺巡礼
 天川村 天河大辨財天社 松本 恭輔
 今日見心親
 柿の葉ずし いまむかし
 シルクロードと奈良(4)
 奈良時代のワインの話
 大美和 大神神社
 〒633-8538奈良県桜井市三輪
 0744-42-6633 www.comiwa.or.jp
 115 2008.7 B5 80p(抄)
 暑中ご挨拶 鈴木 寛治
 大神の酒宴歌 坂本 信幸
 律令祭祀と大神神社 藤森 馨
 三輪山麓出土の子持勾玉祭祀 大平 茂
 三輪山セミナー講演録
 女王制と三輪山祭祀 前田 晴人
 三輪山セミナーイン東京講演録
 わが心の原郷 うまさけ三輪の
 山 岡野 弘彦
 第37回「神道国際友好会宗教事情
 視察研修」東西文明の十字路口ト
 ルコ共和国の現状視察に参加し
 て 池田 陽一
 吉野路 樋口昌徳
 〒638-0001奈良県吉野郡下市町阿知賀3290
 0747-52-9098
 117 2008.5 A5 20p
 吉野路の点景(46) 吉野川上流の

「紙すきの里」(吉野町窪垣内)
 吉野路に見る南朝の遺跡(65) 天
 川村に南朝の跡をさぐる(40)
 天川村歴史散歩(エ) 洞川と登
 拝の道(丁) 大峯山(山上ヶ岳)
 頂上と稲村ヶ岳の道標
 図書紹介 『川上村昔ばなし』著
 者・川上村広報「かわかみ」編
 集委員会 / 『大峯縁起』著者・
 銭谷武平
 道標(94) 吉野への道(4) 壺坂
 峠道の道標(高取町清水谷～大
 淀町比叢) 吉野山への巡礼の
 道
 東吉野村滝野「白馬寺の大ケヤキ
 伐採」
 吉野路の植物(24) 巨木・古木た
 ち(10) 川上村神之谷
 天誅組の変 郷土出身の義士の活
 躍(9) 五條市出身の「森田節
 斎」のこと(八)
 吉野春秋 樋口昌徳
 〒638-0001奈良県吉野郡下市町阿知賀3290
 0747-52-9098
 265 2008.6 B5 4p
 大淀町 世尊寺(大淀町比叢)『現
 光寺縁起絵巻』特別公開 5月
 25日～31日 100年ぶり鮮やか
 絵巻 境内は「比叢寺跡」とし
 て国史跡/他
 266 2008.7 B5 4p
 環境省「平成の百名水」 東吉野
 村大又「七滝八壺」、曾爾村太
 良路「曾爾高原湧水群」 県内
 から2件を選定・認定 保全・
 活用などを評価 県「優れた水
 環境をアピール」/他

紀南・地名と風土研究会会報
 〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
 桑原康宏方 0739-22-0483 年2000円
 43 2008.7 B5 24p
 縄文晩期土器に描かれた舟の絵
 南紀串本町・矢ノ熊遺跡の土器
 の線刻絵画について 神島 明彦
 地名「滝の拝」について 吉川 壽洋
 熊楠滞在の兵生の製板所について
 中瀬 喜陽
 三輪崎・高野坂(新宮市) 田中 弘倫
 富田川のおオウナギに想う 吹揚 克之
 『播磨国風土記』の現実的解釈 田中 伸幸
 和歌山県内の道路元標の実態調査
 緊急速報 桑原 康宏
 熊野 紀南文化財研究会
 〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
 濱岸宏一方 0739-25-0657 年3000円
 134 2008.5 A5 57p
 南方熊楠と田辺町の米騒動 池田 孝雄
 「那須与一と如々山不動寺」の伝
 承についての若干の考察 西田 孝道
 周参見浦漂流人に関する覚書 杉中浩一郎
 田辺・蓬萊池から出た名号碑 吹揚 克之
 熊野別当湛増の風体と略伝 阪本 敏行
 文化財ニュース・会合メモ
 和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会
 〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
 江本英雄方 年3000円
 wakayanachihoshi.hp.infoseek.co.jp
 55 2008.7 A5 102p
 粉河寺創建に関する史的背景 寺西 貞弘
 和歌山城下非人村の長吏・非人改
 役と肝煎 藤本清二郎
 近世後期、紀州における鷹場の分
 布について 山下奈津子

出版物等にもみる近代和歌山の書商
 たち(前) 喜多村論考の検証を
 通して 須山 高明
 借楽園焼にみえる「八詠」銘につ
 いて 中村 貞史
 『紀伊考古学研究』10年に想う 村田 弘
 『とはすがたり』の著者二条と那
 智御師 阪本 敏行
 和歌山城吹上口の発掘に思う
 考古学と文献史学の連携 三尾 功
 将来への説明責任と公文書館制度
 藤 隆宏
 「日高地域の地曳網漁用具および
 和船」の指定について 加藤 幸治
 「孫市まつり」記念シンポジウム
 参加記 川口 敦志
 2008年度県内博物館・資料館の展
 覧会情報

中国・四国

中村家の会報
 〒680-0015鳥取県鳥取市上町41
 中村忠文方 0857-23-1264 年5000円
 www.nihonkai.net/nakamura/
 30 2008.6 A4 10p
 「中村家の会」今後について 中村 忠文
 中村一忠公400年忌行われる 中村 忠文
 「鳥取県民俗文化論」(坂田友宏)
 に見られる米子の伝説など 中村 忠文
 感応寺の鐘/城跡の民有地、市が
 買収し「史跡公園」に
 北東アジア文化通信
 鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
 0858-26-1811
 31 2008.5 B5 8p
 韓国歴史ドラマと高句麗古墳壁画

(1)「朱蒙」と三足鳥 齊木 恭子
 韓国人である私を感じた日本人の
 言葉使い 鄭 然旭
 韓国語指導助手(ALT)鄭然旭さん
 の「日本人の言葉使い」に関す
 る話を聞いて感じたこと 根鈴 輝雄
 宇喜多家史談会会報
 〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内
 086-222-2028 年2000円
 27 2008.7 A4 10p
 天神山落城・高田落城年代に関す
 る考察 加原 耕作
 宇喜多家直家の最期 大西 泰正
 平成20年度宇喜多家史談会総会記
 念講演要旨 宇喜多氏発展の時
 代背景 戦国期の備前国 田中 修實
 龜山城天守の復元 内藤 勝輔
 岡山藩研究 岡山藩研究会
 〒169-0051東京都新宿区西早稲田
 早稲田大学文学部 紙屋研究室内
 www.waseda.jp/assoc-okayamahan/
 57 2008.7 B5 18p
 第27回全体会の記録
 報告要旨 天保の日光社参と江戸
 湾防備 浦賀を中心に 涌井有希子
 討論要旨
 参加記
 天保の日光社参と江戸湾防備
 涌井氏の報告を聞いて 下重 清
 涌井氏の報告を聞いて 玉井 建也
 書評 藪田貫 『近世大坂地域の史
 的研究』 木下はるか
 きび野 岡山県郷土文化財団
 〒700-0813岡山市石開町2-1
 086-233-2505

110 2008.6 A5 18p
 随想
 「何のために書いたんだ？」 梅村伊津郎
 吉備の児島 小見山 輝
 古文書は語る 妻鹿 淳子
 岡山の自然 岩井滝 片田八重美
 岡山の文化財 正宗文庫 正宗 千春
 岡山の人物 池田斉政 万城 あき
 岡山の文学碑 大谷碧雲居 佐野 綱由
 わが町・わが村の自慢
 岡山市半田山植物園(岡山市)
 岡山の匠
 石原中山(撫川うちわ作家)
 地域文化創造に向けて
 先人顕彰会・井原(井原市)
 美術館・博物館めぐり ライフパ
 ーク倉敷科学センター(倉敷市)
 文化財団ニュース/会員日より

 芸備 芸備友の会
 〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
 小都隆方
 35 2008.7 B5 114p
 《特集 出土遺物から見た芸備の城館跡》
 芸備友の会第15回例会報告
 城館跡出土の土器 鈴木 康之
 城館跡出土の陶磁器 沢元 保夫
 城館跡出土の瓦 福原 茂樹
 城館跡出土の銭貨 篠原 芳秀
 城館跡出土の武器 花本 哲志
 城館跡出土の鉄滓 安間 拓巳
 第15回例会報告・討議概要 芸備友の会
 第15回例会について 小都 隆
 河瀬正利先生の訃報に接して 芸備友の会

 芸備地方史研究 芸備地方史研究会
 〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広
 島大学大学院文学研究科日本史学研究室内

082-424-6643 年3000円
 262 2008.6 A5 30p
 近世尾道鍛冶についての基礎的考
 察 下向井紀彦
 「建国記念の日」のヒロシマ(42)
 芸備地方史研究会
 新聞記事から(2001年7月~12月)
 /広島県の地方史研究/鈴峯才
 ーブンカレッジの記録
 史跡をあるく 丸屋城跡

 備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 084-953-6215
 142 2008.6 A4 10p
 近田堀の土居城と近田宗左衛門 田口 義之
 胎蔵寺本尊「釈迦如来坐像」胎内
 経の記載をめぐって 出内 博都
 親と子の古墳めぐり記 野母 寿子
 びっくりしたこぶん 山下よしみ
 古墳めぐりに参加して 山下 裕子
 コラム 皇帝は多忙か? 原田 寛雄
 夏越の大祓 根岸 尚克
 大分市・樋ノ口堤跡 後藤 匡史
 笠岡バイパスを見学して 種本 実
 シャッターチャンスを探して
 尾道を歩きながら 野母 寿子
 藤戸石は石の太閤さん 高橋 光雄

 広島県立文書館日より
 〒730-0052広島市中区千田町3-7-47
 082-245-8444
 www.pref.hiroshima.jp/soumu/bunsyo/manjokan/
 31 2008.1 A4 8p
 海難事故の記録 第五北川丸沈没
 遭難事故と行政文書 数野 文明
 広島県立文書館収蔵文書展「開発
 の時代 広島県行政文書1955~

1975」によせて 広島西港区
 (出島)の埋立工事 安藤 福平
 「ニューカレドニアの日系人」展
 と平賀家文書 津田 睦美
 平成19年度広文協・県立文書館共
 催 行政文書・古文書保存管理
 講習会/広文協から
 他館の紹介 茨城県立歴史館 数野 文明
 閲覧室から 古文書についてのお
 れやこれや 半田 堅二

 わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
 0848-62-2935
 207 2008.6 B5 12p
 今月の各地 サマータイム考 大谷 和弘
 夏の思い出
 新藤監督と乙羽信子さん 堀本 逸子
 高山城跡探訪の感想文集
 矢竹や笹の藪を皆で切り開いた
 高山城跡 土肥 正徳
 待望のあの山に登った 山田美代子
 よく整備されていた山城跡 石原 博子
 208 2008.7 B5 12p
 今月の各地
 宮沖新開の農地環境改善 後 登
 H20年度総会並びに記念講演会報
 告 鈴木 健次
 鉄道水源地余話 大谷 和弘
 いも地蔵と下見吉十郎(6) 坂井 吉徳

 徳島県立文書館日より
 〒770-8070徳島市八万町向寺山
 徳島県文化の森総合公園 088-668-3700
 www.archiv.tokushima-ec.ed.jp
 29 2008.3 A4 8p
 公文書管理に関する最近の動向 計盛眞一郎
 公開史料の紹介 武田家文書

昭和9年徳島県通常県会「会議録」
 に見る「室戸台風」 森 正和
 史料調査報告 美馬市旧木屋平村
 阿波学会総合学術調査との連
 携 立石 恵嗣
 阿波人形浄瑠璃に取り組んで
 学校教育とのさらなる連携を
 古写真は宝物 福原 健生

 秦史談 秦史談会
 〒780-0023高知市東秦泉寺283
 松本紀郎方 088-875-6671
 145 2008.5 B5 46p
 三谷の將軍別邸一話 常石 芳英
 歴史民俗資料館「鯉」展など 広谷喜十郎
 内容豊かな浦戸の歴史展(新聞) 瀬戸 鉄男
 大河ドラマ「篤姫」と土佐(3) 岩崎 義郎
 文化の違い 松本 紀郎
 旭日双光章・坂本正夫さん(『高知
 新聞』より)
 民権ばあさん物語 龍馬さん 久米生太子
 桜は語る 毛利 俊男
 トップランナー・吉沢文治郎さん
 (『高知新聞』より)
 古代官道と歴史街道を考える 広谷喜十郎
 ありゃ!龍馬(2) 松本 紀郎
 童話 つらいぞ、いつまでも 永野美智子
 岡村庄造氏拓本集から(8)

 九州・沖縄

 ふるさとの自然と歴史
 歴史と自然をまもる会
 〒810-0001福岡市中央区天神1-15-30
 福岡市文学館内 092-781-7802
 322 2008.5 A4 33p 500円
 平成20年度を迎えて 麻生 護
 平成20年度を迎えて 吉田 宏
 福岡市の鳥たち(21) 白石 哲

筑紫平野からの古代史検証(61)
 筑紫大宰とその支配(2) 田中正日子
 野生植物を訪ねて(95) 対馬市豊
 のオオチョウジガマズミ・妙見
 のモクゲンジ 井上 晋
 続・野村望東尼書翰集見つかる
 (29) 事々の適宜はともかくも
 幕末・胎動する それぞれに定
 見なく成り行き任せ 小河扶希子
 いしづみ訪問(114)
 福岡県福津市 宮地嶽神社 那須 博
 福岡のむかしばなし(103)
 カップの話(2) 青木 晃
 わが国最古の用水路用
 早鐘眼鏡橋 坂本 正行
 大宰府鴻臚館物語(10)
 徒然なるままに 塩屋 勝利
 ミルトス 城陽 沙
 花 フジ 安部 道郎
 美術館・博物館等文化施設だよ
 り/探訪と催し
 未慮国 松浦史談会
 〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
 0955-73-3549 年2000円
 174 2008.6 B5 20p
 考古学における唐津地方研究の成
 果(13) ものと生活(2) 蓋形
 漆器(1) 田島 龍太
 青木氏蒐集文書について 寺沢 光世
 屋形石天瑞山長興寺を尋ねて 志佐 彦
 唐津焼始原期の謎(4) 岸岳城の
 岸岳唐津八窯の関係 中里 紀元
 八幡岳がはぐくむ歴史を訪ねて 藤井 鶴久
 伊勢崎市の唐津城図(1) 宮崎 博司
 秀吉が遊んだ唐津茶屋 塚本 三郎
 日韓交流史の中の諏訪姫伝説と佐
 用姫伝説 熊本 典宏

相知の歴史夜話(30) 祭城 一子
 キリシタン信仰の跡を訪ねて 佐々木市太郎
 浜木綿 五島文化協会
 〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
 カメラのササキ内 0559-72-2409
 85 2008.5 A5 162p(抄)
 五島歳時記 鬼岳賛歌 武羅井 高
 私の感動した短歌(11) 佐々木祥一
 心温まる幼少の故郷回顧(3)
 オトロシカ戦争は、もう厭! 山中 彦昭
 故郷と神の恵みのことば 鳥巢孝
 子詩集『光彩 はじめの一歩』
 について 田中 俊廣
 五島賛花
 福江島サザンカ紀行(3) 松島 嘉助
 前の島ありき 筑田 俊夫
 東京便り 高橋 徹
 私の中の故郷・原風景を訪ねて 増田 常德
 伊王島に俊寛僧都の墓碑を訪ねて
 釘本サチ子
 故郷と後進へエールを送り続けた
 生涯 塩塚嘉寿男さんのご逝去
 を悼む 内海 紀雄
 父の手紙に見る激動の「昭和」(1)
 内海 紀雄
 ある偶然(17)
 白浜顕貴と近藤重蔵 比留木忠治
 みやざき民俗 宮崎県民俗学会
 〒880-0924宮崎市東宮1-321 前田博仁方
 0985-56-2450 年3000円
 www.hoops.ne.jp/~mminzoku/
 60 2008.5 B5 188p 2000円
 新しい一歩を 60号記念号の刊行
 にあたって 原田 解
 《特集「みやざき民俗」への期待》
 「みやざき民俗」への期待 天野 武

故郷「みやざき」今昔物語 根井 浄
 「みやざき民俗」へいくつかの提
 言 森田 清美
 シンポジウム 宮崎における民俗
 学の課題と期待
 県内の民謡資料を集めた「宮崎県
 の民俗音楽」がまとまる 原田 解
 特集 二十一世紀に語り継ぐ地域
 の民俗文化
 北川における庚申信仰 児玉 剛誠
 鉄肥藩の鉄山とたたら製鉄の伝
 播 湯浅 倉平
 「みやざき民俗」60号記念講演
 弥五郎どんとは何者か 鉄肥田
 ノ上八幡神社の弥五郎人形を
 中心に 山口 保明
 隠れ念仏「カヤカベ類似の宗教」
 と御霊の守護神化 宮崎県都城
 盆地における六十六部殺しにも
 とづく御霊信仰とその歴史的背
 景 森田 清美
 仁王の利益 宮崎県の事例にみる
 仁王信仰 高木 道弘
 小戸神社と御船講について 海中
 安全御祈祷と参会の意義 甲斐 亮典
 「高千穂の夜神楽」の地区による
 違いについて 緒方 俊輔



道中記にみる高千穂の旅人 山崎 剛一
 宮崎県の狩猟関係資料にみる幻の
 ニホンリス 安田 雅俊
 念仏講「百万遍」信仰 前田 聰
 日向国における遊行上人の廻国 前田 博仁
 石に聴く「橋供養塔」の辻 長曾我部光義
 ふるさととの正月行事
 宮崎県北部にみる事例から 那賀 教史
 *宮崎県民俗学会は、1954(昭和29)年に日向民
 俗学会として発足した。その機関誌「みやざ
 き民俗」が2008年で60号を迎えた。2008年と
 いえば、柳田國男が九州旅行の途次、宮崎
 県椎葉村を訪れて百年目に当たる。柳田は同
 村に一週間滞在し、古来の狩猟方法が伝承さ
 れていることに感動して、調査報告書『後狩
 詞記』(1909)を刊行、本格的に民俗学研究を
 開始した。
 60号を記念したシンポジウム「宮崎にお
 ける民俗学の課題と期待」は、宮崎県民俗学
 会事務局長前田博仁氏をコーディネータに、
 同会会長山口保明氏、日南市郷土史会副会長
 石川正男氏が、学会活動の現状を検証し、
 今後の方向性について討論したものである。
 椎葉村の狩猟民俗が柳田によって初めて学問
 的に評価されたように、宮崎県は民俗の宝庫
 といわれながら、その研究調査の多くは県外
 の大学や研究者によって行われ、県内には研
 究者が育ってこなかった経緯から議論が進め
 られ、昨今の市町村合併によって、県内に研
 究心や調査意欲が高まっており、行政や大
 学、漁業協同組合など地元の団体との連携の
 方向性が示される。今後の課題としては、徹
 底した調査によって、次世代に記録を残すこ
 との重要性が共通認識として提起された。フ
 ロアからの、柳田と折口信夫を超えないと民
 俗学は生き残れない、そこを超えることで思
 いきりものがいえるようになるとの積極的な
 発言で締めくくられている。

アーカイブス 沖縄県公文書館だより
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3
 098-888-3875
 archives.pref.okinawa.jp
 34 2008 2 A4 8p
 この人にききました 県職員の声
 比嘉麻紀子さん
 アーカイブズフラッシュ / 宮古支
 庁で、公文書館業務説明会と保
 管文書調査を実施
 特集 映像資料紹介
 あの日の沖縄 東恩名博物館・首
 里市立郷土博物館
 閲覧室Q & A
 業務報告 「ベッテルハイムの日
 記」の補修 / 好評を博した宮古
 移動展 / カーツ博士講演会
 宮古郷土史研究会会報
 〒906-0007 沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
 42 県立図書館宮古分館内
 09807-2-2317
 166 2008 5 B5 8p
 5月定例会レジュメ 『多良間村史』
 の与那覇勢頭豊見親に関する資
 料について 下地 和宏
 6月定例会レジュメ 宮古島市体
 育協会(安谷屋豪一会長)・創立
 60周年記念誌発行を終えて 小禄 恵良
 3月定例会のあらまし つれづれ
 なるままに 宮古上布 当真まり子
 第33回定期総会開かれる
 宮古郷土史研究会 砂川 幸夫
 多くの宮古関係資料も収録 県芸
 大・鎌倉芳太郎「ノート篇」刊
 行 仲宗根將二
 宮古島市総合博物館第6回企画展
 「インディアン・アート展 カ

ナダ北西海岸・トーテムポール
 のひとびと」異なる民俗の世
 界観に触れる 宮古島市総合博物館
 宮古島市文化協会定期総会開催さ
 れる
 『すでいがふう』 教職38年の足
 跡 川上哲也氏・退職記念に出
 版
 「平和憲法」は占領軍の押しつけ
 ではない「アピール」発表 仲宗根將二
 絵画サークル・二季会 砂川 幸夫

受贈図書紹介

坂本友規日誌 上 釧路叢書33
 坂本正男編 釧路市(〒085-0018 北海道釧
 路市黒金町8-2 釧路市総務部地域史料室
 0154-31-4506) 1998年3月 A5 423頁
 1800円
 明治17年6月、鳥取県から根室県釧路に入り
 鳥取村創始にあたった旧鳥取藩士・坂本友規
 の日誌全20冊を収録。上巻には、釧路入植時
 から明治27年末までの釧路村での生活記録を
 まとめる。解説 鳥取土族移住と坂本友規日
 誌(坂本正男・佐藤宥紹・内山千春)
 坂本友規日誌 下 釧路叢書34
 坂本正男編 釧路市(同上) 1999年3月 A5
 429頁 1800円
 上巻にひきつづき、明治28年1月にユッパナ
 イ(現釧路市桜田)に移住して以降、友規が没
 する同36年までの日誌を収録する。
 芳賀の文化財23 お堂(祠)と祭り
 芳賀都市文化財保護審議会連絡協議会編・刊
 2008年3月 B5 96頁
 栃木県芳賀郡市内の文化財を調査・収集して
 まとめる文化財報告書の第23集として、6市
 町に所在する406か所のお堂(祠)と祭りを、
 それぞれの一覧・位置図とともに収録する。

芳賀のお堂と祭り(柏村祐司)/真岡市ノ二宮
 町ノ益子町ノ茂木町ノ市貝町ノ芳賀町
 あきないの空間
 千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊(〒
 102-0081 東京都千代田区四番町1 03-
 3238-1139) 2008年7月 A4 13頁
 千代田区立四番町歴史民俗資料館の平成20年
 度企画展図録。神田の商店街や商店の変遷を、
 多数の写真や関連資料とともに紹介する。市
 街地の誕生ノ「商店街」の形成ノ昭和5年の
 「商店街」の空間ノ「商標・広告・デザイン」
 との考古学的対話ノ地下6メートルの「あき
 ないの空間」ノ発掘された「鞠室」ノ神田地区
 の専門店街・同業者街
 歴史探訪に便利な日本史小典(6訂版)
 日笠山正治編 日正社(〒189-0026 東京都
 東村山市多摩湖町4-33-1 042-390-7681)
 2008年6月 B7 207頁 952円
 1984年の初版以来、通算32刷を数える歴史愛
 好者に好評の日本史小事典。
 相模国鎌倉郡小塚村「御用留(8)
 藤沢市史料集32
 藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県
 藤沢市朝日町12-6 0466-24-0171) 2008年
 3月 A5
 123頁
 2005年3月刊行の藤沢市史料集第29集に引き
 続き、旧鎌倉郡小塚村の明治6年の「御用留」
 4冊分(彦坂家文書)を収録する。
 藤沢山日鑑26
 藤沢市文書館編・刊(同上) 2008年3月 A5
 513頁
 遊行寺宝物館所蔵の清浄光寺伝来記録『藤沢
 山日鑑』翻刻版26巻である。本書には安政7
 年(1860)、文久2年(1862)、同3年の3年分を
 収録する。日鑑(安政7年正月)/日鑑(文久2
 年正月)/日鑑(文久3年正月)/解説 かじめ
 の杓子(高野修)

藤沢市史新聞記事目録
 横浜貿易新報・昭和6年～昭和7年
 藤沢市文書館編・刊(同上) 2008年3月 A4
 118頁
 昭和6年1月から昭和7年12月までの『横浜貿
 易新報』より、藤沢市域に関する記事を収録
 した新聞記事目録。
 新編 上杉謙信のすべて
 花ヶ前盛明編 新人物往来社(〒101-0054
 東京都千代田区神田錦町3-18-3 錦三ビル
 03-3292-3931) 2008年5月 A5 360頁
 3200円
 上杉謙信とその時代(花ヶ前盛明)/上杉謙信
 の上洛と朝廷・幕府との関係(下山治久)/上
 杉謙信と川中島の戦い(平山優)/上杉謙信と
 織田信長(谷口克広)/関東管領職と越山(七
 宮三三)/謙信の越中・能登政策(池田一)
 /上杉謙信の教養と信仰(木村康裕)/商工業
 振興策(市村清貴)/上杉謙信の軍資金(小菅
 徹也)/春日山城と越後府中の発掘(小島幸
 雄)/越後長尾氏系図・越後上杉氏系図/越
 後長尾氏系図・越後上杉氏系図/上杉謙信関
 係人物事典/上杉謙信合戦事典/上杉謙信関
 係史跡事典/上杉謙信関係年譜/上杉謙信参
 考文献他
 となみの手仕事 酒樽づくり
 DVD製作に関する報告書
 砺波の伝統技術を記録保存する会編・刊(〒
 932-0393 富山県砺波市庄川町青島401 砺
 波市教育委員会生涯学習課内 0763-82-
 1904) 2008年3月 A4 18頁
 砺波の酒樽ノ砺波郷土資料館収蔵の桶・樽
 類ノ砺波市内の桶職人調査ノ砺波市内の最後
 の桶職人 石黒孝吉ノ石黒さんの酒樽づく
 りノ石黒さんの樽づくり用具ノ石黒さん製作
 の酒樽
 弥生ムラの風景
 越のクニ生み・境界・交流

石川県立歴史博物館編・刊(〒920-0963 金沢市出羽町3-1 076-262-3236)2008年4月 A4 90頁

石川県立歴史博物館の春季特別展の図録。米作りのはじまり/葦原の聚楽/弥生のまつり/弥生人の装い/米を食べる生活/石から鉄の時代へ/日本海交流とコシの弥生社会/倭国の乱とその後/弥生ムラの風景(戸潤幹夫)/北陸地方の農耕社会の形成(久田正弘)/八日市地方遺跡に学ぶ(宮田明)/北陸の弥生ムラと社会(安英樹)/北陸の木製農耕具(楠正勝)/日本海交流とコシの弥生社会の变革(林大智)/出品目録/参考文献

小玉区誌
小玉区誌編集委員会編 小玉区誌刊行委員会刊 2006年3月 A4 280頁 2500円 申込先:いいづな歴史ふれあい館(〒389-1211 長野県上水内郡飯綱町牟礼1188-1 026-253-6646)

旧むれ歴史ふれあい館で平成14年2月に開催された企画展「小玉区の歴史・今昔」を契機として生まれた住民自身の執筆による集落誌。北国街道沿道の集落、「信州鎌」の特産地として歩んだ牟礼村小玉区の歴史を紹介する。小玉区の自然と歴史概観/産業/交通/暮らしと水/神社と寺院・墓地/暮らしと環境/団体・行事/遺跡・史跡・石造文化財など/資料編/分館報縮刷版/小玉区の歴史・今昔展/小玉区誌刊行委員・編集委員名簿/編集を終えて(廣田俊博)/区誌編纂に携わって(廣田三偉)/編集に携わって(黒柳英一)/『小玉区誌』の編纂に関わって(小山丈夫)

伊東市の民俗 聞き取り資料集
伊東市史調査報告書3
伊東市史編さん委員会編 伊東市教育委員会(〒414-8555 静岡県伊東市大原2-1-1 0557-36-0111)2008年3月 2008年3月 B5 290頁

伊東市史編纂事業の一環として平成11年度から18年度にかけて行われた伊東市域の民俗調査の成果をまとめる。宇佐美の民俗/旧伊東町の民俗/川奈の民俗/吉田の民俗/萩の民俗/十足の民俗/富戸の民俗/八幡野の民俗/池の民俗/赤沢の民俗

あたごさん 調査資料集
鶴飼均編 京都愛宕研究会(〒621-0847 京都府亀岡市南つじヶ丘桜台1-5-19)2008年6月 A4 71+53頁
京都愛宕山の開山1300年祭を期に発足した京都愛宕研究会の5周年記念誌。先に刊行された『愛宕山と愛宕詣り』(2003年12月刊)以降の愛宕研究会による調査研究の成果と、愛宕山にかかわる近世地誌資料をまとめる。いのりとくらしの今昔(大槻雅弘)/愛宕山ホテルの全容解明を試みて(平塚耕次)/研究メモ「愛宕山権現之記」の成立時期について(古川修)/お地蔵様と丁石(嶋山宏二)/愛宕関連資料調査報告 近世地誌に記されたあたごさん 愛宕関連資料集/付録 愛宕史跡案内リーフレット『清滝案内記 今昔』

加悦町史 資料編2
加悦町史編纂委員会編 与謝野町(〒629-2262 京都府与謝郡与謝野町岩滝1798-1)2008年3月 A4 1003頁
2004年に刊行された『加悦町史』概要版、2007年の資料編1につづく資料編第2巻。2006年3月の岩滝町・野田川町との合併による与謝野町の発足以降も継続された加悦町史編纂事業の成果である。歴史資料編 古代史料/中世史料/近世・近代における縮緬業発展の歴史/近代自治の発展/史料に残る歴史の諸相/民俗芸能編/付録 全国織物同業組合機台職工並産額表・丹後縮緬の製造工程

収蔵資料調査報告書9 上林春松家文書2
宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 0774-39-9260)2007

年3月 B5 47頁
平成16年に刊行された収蔵文書調査報告書第6集「上林春松家文書」につづき、寛文元年(1661)~慶応2年(1866)までの393点の文書を紹介する。宇治郷絵図と七名園・七名水の伝承 解題にかえて/大名蜂須賀家と御用茶師上林春松家について(根津寿夫)/史料翻刻(7点)/尾張藩数寄屋頭の食の好みと茶会(坪内淳仁)/上林春松家文書目録2

収蔵資料調査報告書10 幕末の銅版画
宇治市歴史資料館編・刊(同上)2008年3月 B5 71頁
幕末期の京都の名所や社寺を題材とした宇治市歴史資料館所蔵の銅版画441点の概要を、画像とともに紹介する。館蔵銅版画の概要/銅版画目録 幕末編/銅版画画像集

上郡町史1 本文編I
上郡町史編纂専門委員会編(〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持278 町史編纂室 0791-52-1112)2008年3月 A5 760頁 5000円(送料590円)

『上郡町史』全4巻の第3回配本として、上郡町域の地形・地質と近世前半までのあゆみをまとめる。上郡町とその周辺の地質と地形/上郡の大地に生きる/上郡町の古代/上郡町の中世 /上郡町の中世 /上郡町の近世前期/付図 上郡町とその周辺の航空写真、上郡町とその周辺の高高度別準平原分布図

三田市史7 現代資料
三田市まちづくり部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん担当編 三田市(〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町12-27 079-559-4466)2008年7月 B5 915頁

『三田市史』全12巻のうち現代資料編として、三田市制施行以降50年間の資料を収録する。〔都市形成のあゆみ〕三田市の誕生/西藤市政期/赤尾市政期/岡崎市政期/塔下市政前期/塔下市政後期/岡田市政期

〔市民生活のあゆみ〕市民の安全/農業の展開/商工業の展開/衛生・医療・福祉/教育と文化/地域コミュニティ

さんだのあゆみ 1998-2008
三田市まちづくり部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん担当編 三田市(同上)2008年7月 B5 915頁

『三田市史』別編1「さんだ40年のあゆみ」の追録編として、市制を中心とした最近10年間あゆみを、写真や資料とともにふりかえる。また、この間のトピックとして「三田駅前再開発のあゆみ」と「のじぎく兵庫国体」を取り上げる。さんだのあゆみ/主要統計指標/総合年表/一覧表/あとがき

西神ニュータウン研究会
例会・講演 全記録集
西神ニュータウン研究会編・刊(〒651-2103 神戸市西区学園西町1-1-1 UNITY 神戸研究学園都市大学交流センター 078-794-4970)2008年3月 A4 130頁

神戸研究学園都市大学連携施設の共同研究「西神ニュータウンの建設と歴史」の発表会を機に平成14年秋に発展・発足した西神ニュータウン研究会の5年間の活動記録ともに、「会報」創刊号(2003年2月)から第60号(2008年3月)を再録する。

西宮の寺院縁起
西宮市立郷土資料館編・刊(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 0798-33-1298)2008年3月 B5 14頁

西宮市立郷土資料館の第24回特別展示の展示図録案内。西宮市内に50か寺ある江戸時代以前に開基伝承をもつ仏教寺院について、各寺院の縁起や伝承に関わる資料を通して紹介する。縁起の世界/西宮の寺院/神呪寺と西宮地方/鷲林寺と円満寺/西廣寺の本尊と朝日寺/善恵上人と浄橋寺/昌林寺の伝承/蓮如

来る 名塩と山口町の真宗寺院 / 鳴尾の寺院 / 観音寺と長慶寺 / 西宮町と禅宗寺院

西宮歴史散歩案内マップ 西宮市歴史・文化遺産地図 西宮市文化財資料52

西宮市立郷土資料館編 西宮市教育委員会 (同上) 2008年3月

西宮市内の文化財をわかりやすく紹介した『新西宮歴史散歩』(西宮市文化財資料47、2003年3月)を補うため、西宮市の中核市への移行を記念して作成されたガイドマップ。

本庄村史 歴史編 神戸市東灘区深江・青木・西青木のあゆみ

本庄村史編纂委員会編・刊(〒658-0021 神戸市東灘区深江本町3-5-7 神戸深江生活文化史料館内 078-453-4980) 2008年2月

B5 862頁 5000円

昭和25年に神戸市と合併して現在は東灘区に含まれる本庄地域について、第1冊の地理編・民俗編(2004年7月、3000円)に続き合併までの歴史をまとめる。考古学がかたる本庄地区周辺の地域史 / 古代の西摂・神戸と本庄地域 / 中世の本庄地域 / 近世の本庄地域 / 明治期の本庄村域 / 大正昭和前期の本庄村 / 十五年戦争と本庄村 / 戦後の本庄と合併問題 / 近代の建築と景観 / 歴代村長一覧 / 本庄とその周辺をもっと知るための本 / 再出発を期して

大和国添上郡西辻村関係史料

奈良県同和問題関係史料13

奈良県立同和問題関係史料センター編・刊(〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1

0742-64-1488) 2008年3月 A5 186頁

江戸時代末期から明治時代初期における大和国添上郡八条村に関する史料のうち、同村枝郷西辻村を巻き込んで断続的に生じた村方騒動の動向を伝える主要なもの88点を選び、原本の体裁にしたがって翻刻・収録する。

「弥五郎どん」とは何者か 南九州の「大人」人形行事の民俗的背景をさぐる

山口保明著 鈿脈社(〒880-8551 宮崎市田代町263 0985-25-1758) 2007年7月 B6 289頁 2100円

宮崎県都城市「的野弥五郎」、日南市「田ノ上弥五郎」、鹿児島県曾於市「岩川弥五郎」など南九州に伝わる「大人」人形伝説を、その発生における隼人伝承と八幡信仰、さらに霧島信仰などとの関わりから解き明かす。弥五郎どんが行く / 浮遊する靈魂と「弥五郎どん」 / 「弥五郎どん」のふるさと / 大人や五郎人形行事と放生会 / 隼人の山・霧島山信仰と「弥五郎どん」 / 巨大化する弥五郎人形 / 大人弥五郎についての所説 / 生きつづける「弥五郎どん」

後記

昨秋から、大学と地域社会や企業との連携に関わる業務も担当するようになり、地方出張の機会が増えた。4ヵ月余りで、秋田、沖縄、鳥取、新宮、浜松、成田、群馬県嬭恋、仙台などに出かけた。このうちの半分強が一泊、残りは日帰りである。一泊の場合は、昼まで職場で勤務し、午後の飛行機で現地に飛んで、夕刻に打合せ、明けて丸一日業務、夜7時から8時位の便で帰京。翌日は当然の如くに出勤といったサイクルである。この間、私的な用件であったが、札幌まで日帰りをした。こう書くと、如何にも慌しそうに思われるかも知れないが、肉体的な疲労感ということを除けば、業務目的は十分に果たしている。むしろ、限られた時間で、効率的に仕事ができていると云ってもいいのかも知れない。航空機と新幹線のお蔭である。しかしこの便利さは誰のためのものなのだろうか。交通網、情報システムの整備は、皮肉なことに東京への一極集中を一層強めている。出張の度に感じることである。(飯澤)

地方史情報 091 2009年(平成21年)3月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 1@03-3326-3757